

神戸市ホームページ作成 事業者用ガイドライン

広報戦略部

(2023年3月改定)

目次

目次.....	2
1. 目的.....	4
2. 適用範囲.....	4
3. 根拠となる規格またはガイドライン類.....	4
4. 用語及び定義.....	4
5. 目標・スケジュール.....	5
6. ウェブアクセシビリティの確保・向上に関する要件.....	5
1. 企画.....	5
2. 設計.....	5
1) 適用する達成基準.....	5
2) OS 及びブラウザ要件.....	6
3) 表示サイズ.....	6
3. 作成・開発.....	6
4. 検証.....	7
<参考資料1> 神戸市 JIS X 8341-3:2016 レベル A、AA 達成方法解説（一部レベル AAA 含む）.....	8
1. 代替テキスト.....	9
1) 非テキストコンテンツに代替テキストを提供する.....	9
2. 時間依存メディア.....	15
1) 音声だけ及び映像だけ(収録済み)に代替コンテンツを提供する.....	15
2) 時間の経過の伴い変化するメディアの音声と映像に代替コンテンツを提供する.....	16
3. 適応可能.....	18
1) ウェブコンテンツの情報と関係性を適切にマークアップする.....	18
2) コンテンツの意味を理解するのに必要な音声読み上げの順序を保つ.....	27
3) 理解すべき情報を感覚的にだけ伝えることのないように、テキストでも情報を伝える.....	28
4. 識別可能.....	29
1) 色の違いだけで情報を伝えない.....	29
2) 利用者の要求に応じてのみ、音声を再生する.....	32
3) 背景と文字とのコントラストを十分に確保する.....	33
4) テキストのサイズを利用者が変更できるようにする.....	35
5) 必要不可欠な場合を除いて、文字を画像化しない.....	36
5. キーボード操作可能.....	37
1) キーボードのみで操作できるようにする.....	37
2) キーボード・フォーカスを閉じ込めない.....	38
6. 十分な時間.....	39
1) 制限時間は原則として設けない.....	39
2) 自動更新するコンテンツや動きのあるコンテンツは、利用者が停止できるようにする.....	40
7. 発作の防止.....	42

1) 閃光を放つコンテンツは原則として設けない	42
8. ナビゲーション可能.....	43
1) ブロックスキップができるようにする.....	43
2) ページの内容を予測できるようなページタイトルをつける.....	45
3) ウェブコンテンツの順序どおりの使いやすいフォーカス順序にする.....	46
4) リンクの表現は、リンク先を予測できる内容にする.....	47
5) 複数の到達手段を提供する.....	48
6) 内容が分かる見出しやラベルをつける.....	49
7) フォーカスが視覚的に認識できるようにする.....	50
8) 現在位置が把握できるようにする	52
9. 読みやすさ.....	53
1) 言語を指定する.....	53
2) 専門用語、省略語、流行語は多用しない	54
3) 読解レベルに配慮する	55
4) 読みの難しい言葉に読み方を併記する.....	56
10. 予測可能	57
1) コンテンツにフォーカスただけでコンテキストの変化を引き起こさない.....	57
2) コンテキストの変化を引き起こす前に何が起こるのかを説明し、実行ボタンを提供する	58
3) 一貫したナビゲーションを提供する	60
4) 同じ機能を持つコンテンツには一貫した名前や代替テキストを用いる	61
11. 入力支援.....	63
1) フォームにおいてスムーズに入力できるよう配慮する.....	63
2) フォームにおいてエラーが起らないよう、起った場合はエラー箇所を特定できるようにする	66
12. 互換性.....	70
1) 仕様に準じてウェブコンテンツを作成する.....	70
2) 識別名及び役割はプログラムが解釈できるようにし、利用者が操作できるようにする.....	72
13. JIS X 8341-3:2016 達成基準外での注意	73
PDF 文書	73
1) Word 文書を PDF 文書に変換する場合の手順.....	73
2) Word 文書以外を変換した PDF 文書や、文字がテキストデータとして存在していない PDF 文書の場合 は、HTML で代替コンテンツを用意する	77
<参考資料2> 神戸市実装チェックリスト.....	78
実装チェックの方法	79
1) 実装チェックの方法	79
神戸市実装チェックリスト.....	80

1. 目的

神戸市ホームページ作成ガイドライン(以下、本ガイドライン)は、神戸市ホームページを、誰もが便利に快適に利用できるホームページとするために策定されたものです。

ホームページの利用が不慣れな方、難しい漢字や複雑な文章を理解することが難しい方、目の見えない方(スクリーンリーダーの利用者など)、目の見えにくい方、色の違いが分かりにくい方、耳の聞こえない方、聞こえにくい方、手の動作が不自由でマウスやキーボードを操作することが難しい方、高齢の方等、ホームページを利用する際に問題が生じることの多い方々について、できる限りの配慮を行います。

2. 適用範囲

本ガイドラインは、神戸市の管理する全てのホームページ及びウェブシステム(以下、神戸市ホームページ)を対象とします。

神戸市より外部業者等にホームページやウェブシステムの作成を委託する場合に、本ガイドラインへの準拠を求めます。

3. 根拠となる規格またはガイドライン類

本ガイドラインは、JIS X 8341-3:2016 高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス— 第3部:ウェブコンテンツに基づいて策定しています。

また、平成 28 年 4 月に総務省が発表した「みんなの公共サイト運用ガイドライン(2016年度版)」及びウェブアクセシビリティ基盤委員会も参照しています。

みんなの公共サイト運用ガイドライン(2016年度版)

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/b_free/guideline.html

ウェブアクセシビリティ基盤委員会

<http://waic.jp/>

4. 用語及び定義

本ガイドラインで使用する用語及び定義は、JIS X 8341-3:2016 に基づいています。

5. 目標・スケジュール

レベル AA 準拠を目標として、仕様書に定められた期日までにウェブページの制作を行う。レベル AA 準拠が難しい場合は代替手段を講じる。

6. ウェブアクセシビリティの確保・向上に関する要件

1. 企画

神戸市ウェブアクセシビリティ方針において、神戸市が目標としている JIS X 8341-3:2016 レベル「AA」準拠を目標としてウェブサイトの企画を行う。または、レベル AA に準ずる代替手段を企画する。

神戸市ウェブアクセシビリティ方針

http://www.city.kobe.lg.jp/other/arukikata/web_accessibility/policy.html

2. 設計

1) 適用する達成基準

- ウェブアクセシビリティ方針に基づいた達成基準 レベル A、AA を適用する。

2) 使用するコンテンツ技術及び達成方法

- ウェブコンテンツ制作技術として以下を採用する。全てのコンテンツは、これらの技術の仕様に則って制作を行う。

制作技術:HTML /バージョン:HTML5

制作技術:CSS /バージョン:CSS3

※HTML のバージョンについて、2021 年に、HTML5 を含む W3C で定められてきた HTML の規格がすべて廃止され、WHATWG がとりきめる「HTML Living Standard」が標準仕様となった。

現在の神戸市サイトは HTML バージョン 5 の仕様に則ってマークアップしているが、マークアップ方法としての差異はない。

※仕様上は達成していても、ユーザーエージェント(ウェブブラウザ、支援技術など)がサポートしていないコンテンツ技術及び達成方法については、原則として使用しない。使用する場合は、代替コンテンツを用意する。例)画像のみのウェブページや PDF、外部サービスコンテンツなど

ユーザーエージェント(ウェブブラウザ、支援技術など)がサポートしていないコンテンツ技術及び達成方法の調査はウェブアクセシビリティ基盤委員会が行い、調査結果を公開しているので、これを参照する。

アクセシビリティ・サポーテッド(AS)情報

<https://waic.jp/docs/as/>

3) OS 及びブラウザ要件

以下に記載する OS 及びブラウザでの動作を保証する。

特に、ブラウザは各 OS でサポートが継続されている最新バージョンを対象とする。

OS:

- パーソナルコンピュータ Microsoft:Windows、Apple:MacOS
- スマートフォン・タブレット AndroidOS、iOS・iPadOS

ブラウザ:

- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox (Windows 版, MacOS 版,iOS 版,Android 版)
- Apple Safari (MacOS 版,iOS 版)
- Android Browser
- Google Chrome (Windows 版, MacOS 版,iOS 版,Android 版)

4) 表示サイズ

パーソナルコンピュータ:

- 最小表示サイズ
SVGA(800×600)サイズのモニターで全画面表示させた大きさにおいて、横スクロールバーが表示されないようにする。
- 最適表示サイズ
XGA(1024×768)サイズのモニターで全画面表示させた大きさにおいて、横スクロールバーが表示されないようにする。

スマートフォン:

- 最小表示サイズ 320×568 ピクセルで全画面表示させたとき、横スクロールバーが表示されないようにする。

3. 作成・開発

- JIS X 8341-3:2016 のレベル A、AA の達成基準に適合するようウェブページを作成する。
参考)本ガイドライン 8 ページ「(参考資料 1)神戸市 JIS X 8341-3:2016 レベル A、AA 達成方法解説(一部レベル AAA 含む)」
- 文字色と背景色について、計測ツールを用いてコントラスト比を計測し、レベル AA に適合する。
参考)カラー・コントラスト・アナライザー(<https://weba11y.jp/tools/cca/index.html>)
- 文字コードについて、「Shift-JIS(日本語)」及び「UTF-8(英語、中国語(簡体字)、中国語(繁体字)、韓国語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語)」とする。
- 既存の JavaScript/CSS/画像等を利用する場合は、既存コンテンツへの影響がないようにする。
- ページにコンテンツを追加する場合、DOM(ドキュメント・オブジェクト・モデル)を用いる
- 音声読み上げ機能を利用するための、読み上げ順を意識したコーディングを行なう。
- キーボードのみでも操作が可能のように、コーディングを行なう。

- バリデーターによる検証を実施し、バリデートを行う。
- 参考)W3C Markup Validation Service(<https://validator.w3.org/>)

4. 検証

- JIS X 8341-3:2016 のレベル A、AA に基づく実装チェックリストによる実装チェックを行う。
参考)本ガイドライン 75 ページ「(参考資料2)神戸市実装チェックリスト」

＜参考資料1＞

神戸市

**JIS X 8341-3:2016 レベル A、AA 達成方法解説
（一部レベル AAA 含む）**

1. 代替テキスト

1) 非テキストコンテンツに代替テキストを提供する

関連 JIS 項目:1.1.1 非テキストコンテンツの達成基準【レベル A】

■代替テキストを正しく使用するメリット

- 目の不自由な人が画像の alt 属性の値をスクリーンリーダーで読み上げたり、点字に変換して認識することができるようになります。
- 画像に alt 属性をつけて値に適切に記述することで、テキスト情報として抽出できるようになり、テキスト検索や音声化など、コンテンツを様々な方法で再利用できるようになります。

■達成方法

- 1-1. 画像リンクの目的を説明する alt 属性値を提供する
- 1-2. img 要素に alt 属性を用いる
- 1-3. 支援技術が無視すべき画像の img 要素は、alt 属性値を空にして、title 属性を付与しない
または CSS で指定する
- 1-4. 隣り合った画像とテキストリンクを同じリンクの中に入れる
- 1-5. イメージマップの area 要素に代替テキストを提供する
- 1-6. 複雑な画像がある場合、alt 属性値に長い説明のある場所を示して、長い説明を提供する
- 1-7. 送信 / 実行ボタンとして用いる画像の alt 属性を使用する
- 1-8. ASCII アート、絵文字、及びリート語を使用しない
- 1-9. CAPTCHA を使用しない
- 1-10. 非テキストコンテンツの一般に認められた名前又は内容が分かる名前を提供する
- 1-11. ライブの音声しか含まないコンテンツやライブの映像しか含まないコンテンツの目的を説明する
- 1-12. object 要素のボディに代替テキストを記述する

※上記の達成方法で対応できない場合は WAI-ARIA の適用を検討してください。

WCAG 2.0 達成方法集 <https://waic.jp/docs/WCAG-TECHS/Overview.html>

■達成例

1-1. 画像リンクの目的を説明する alt 属性値を提供する

リンク画像の文字は、リンク先のページの目的が分かるような内容にします。

画像内の文字をすべて alt 属性値に記入し、画像がみえなくても同じ情報が得られるようにします。

<事例 1: バナー>



✗ 悪い例

alt 属性値:「ママフレ」

○ 良い例

alt 属性値:「KOBÉ 子育て応援団 ママフレ いいね！神戸で子育て」

1-2.img 要素に alt 属性を用いる

img 要素には alt 属性を用いて、alt 属性値には、見えなくても情景が伝わるように記述します。

<事例1：写真>



✕ 悪い例

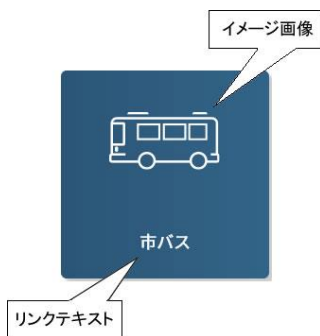
alt 属性値 悪い例：「神戸港」

○ 良い例

alt 属性値 良い例：「快晴の空、山を背景に、神戸の街並みがあります。オリエンタルホテルや赤いポートタワーがあり、その前には神戸港の海が広がっています。」

1-3.支援技術が無視すべき画像の img 要素は、alt 属性値を空にして、title 属性を付与しない または CSS で指定する

<事例1：市バスのイメージ画像>



識字障害を持つ人はイラストがあると理解しやすくなります。
この場合のイラストは、「バス」というテキストに対するイメージ画像であり、支援技術（スクリーンリーダー等）が無視すべき画像です。
alt 属性値を空にして title 属性も付与しないでください。
CSS で画像を指定できる場合は、CSS で画像を指定してください。
※全体をリンクとして提供する場合も同様です。

✕ 悪い例

alt 属性値 悪い例：

```

```

スクリーンリーダーは、「市バス」を2回読上げることになります（スクリーンリーダーによっては、同じリンクに画像とテキストがある場合、画像の alt 属性を読み上げないものもあります）。

✕ 悪い例

alt 属性値 悪い例：

```

```

「市バス」というテキストに対するイメージ画像を詳細に説明してしまうと、コンテンツの目的を的確に伝えることができなくなります。

○ 良い例

alt 属性値 良い例：「空（から）」

```

```

1-4.隣り合った画像とテキストリンクを同じリンクの中に入れる

<事例1：隣り合ったリンク>



同じページへリンクする「リンクテキスト」と近接する「リンク画像」は同じリンクの中に入れ、代替テキストを空（から）にします。

✕ 悪い例

```
<a href="/information/index.html">〇〇へのリンク</a>
```

```
<p class="fr"><a href="/information/index.htm " ></a></p>
```

○ 良い例

```
<a href="/information/index.html"><span class="mayor">〇〇へのリンク</span>
```

```
<span class="mayor_img"></span></a>
```

1-5.イメージマップの area 要素に代替テキストを提供する

マップは alt 属性をつけ、alt 属性値に「マップの情報」を記述し、area 要素がある場合は alt 属性をつけ、alt 属性値に「マップのどの部分であるか」記述します。

<事例1：エリアマップ>



地図は、見えなくても伝わるよう alt 属性値を記述します。

○ 良い例

<地図の alt 属性値>

「区役所一覧 各区のページへは地図上の区名をクリックしてください」

<それぞれの area 要素の alt 属性値>

「長田区」「垂水区」「須磨区」「兵庫区」「中央区」「灘区」
「東灘区」「西区」「北区」

```


<map name="Map2" id="Map2">
  <area shape="rect" coords="29,204,68,222" href="/ward/kuyakusho/nagata/" alt="長田区" />
  <area shape="rect" coords="29,184,68,202" href="/ward/kuyakusho/tarumi/" alt="垂水区" />
  <area shape="rect" coords="54,163,93,181" href="/ward/kuyakusho/suma/" alt="須磨区" />
  <area shape="rect" coords="88,204,127,222" href="/ward/kuyakusho/hyogo/" alt="兵庫区" />
  <area shape="rect" coords="131,192,170,210" href="/ward/kuyakusho/chuou/" alt="中央区" />
  <area shape="rect" coords="120,133,148,151" href="/ward/kuyakusho/nada/" alt="灘区" />
  <area shape="rect" coords="132,115,171,133" href="/ward/kuyakusho/higashinada/" alt="東灘区" />
  <area shape="rect" coords="29,144,57,162" href="/ward/kuyakusho/nishi/" alt="西区" />
  <area shape="rect" coords="101,99,129,117" href="/ward/kuyakusho/kita/" alt="北区" />
</map>

```

1-6.複雑な画像がある場合、alt 属性値に長い説明のある場所を示して、長い説明を提供する

<事例1:「容器包装プラスチック」の紹介>



✕ 悪い例

alt 属性値 悪い例:「容器包装プラスチック対象画像」

○ 良い例

alt 属性値 良い例:「容器包装プラスチック対象画像。

[画像に続いて詳細](#)」

本文: 例えば・・・

○カップ・パック類

カップめん・プリン・ヨーグルト、アイスなどのカップ、卵・果物・レトルト食品のパック、豆腐・コンビニ弁当の容器など

○トレイ類

肉・魚・野菜・寿司のトレイ、菓子・冷凍食品の仕切りトレイなど

○袋・ラップ類

お菓子・パン・インスタント食品などの袋、日用品・詰め替え用洗剤の袋、菓子・カップめん外装フィルムなど

○ボトル類

洗剤・シャンプー・リンスのボトル、食用油・ソース・ドレッシングのボトル、薬・化粧品の容器など

○その他

プラスチック製のラベル・キャップ、商品を保護する発泡スチロールやシート、、マヨネーズ・ケチャップのチューブ、みかん・たまねぎのネットなど

1-7.送信 / 実行ボタンとして用いる画像の alt 属性を使用する

<事例 1 : 検索ボタン画像>



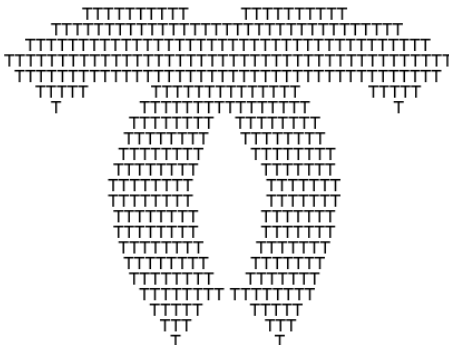
○ 良い例

alt 属性値 良い例 : 「検索」又は「サイト内検索」
※テキストでの提供も可能です。

1-8.ASCII アート、絵文字、及びリート語を使用しない

× 悪い例

<ASCII アート>



× 悪い例

<絵文字>

ありがとう! 😊 です

× 悪い例

<KOBE のリート語>

|<0β&

1-9. CAPTCHA を使用しない

× 悪い例



1-10. 非テキストコンテンツの一般に認められた名前又は内容が分かる名前を提供する

<事例 1>

良い例

芸術作品など感覚的にしかとらえられないものは、タイトル、題材、受賞履歴や作者名など、客観情報のみ記述する(音楽、絵画等)

1-11. ライブの音声しか含まないコンテンツやライブの映像しか含まないコンテンツの目的を説明する

<事例 1: ライブの音声>

良い例

ラジオの生放送を配信する場合、「〇〇生放送中」とその放送内容を説明するラベルをつけます。

<事例 1: ライブの映像>

良い例

道路状況を映したライブ映像には、「〇〇道路放映中」とその映像の内容を説明するラベルをつけます。

1-12. object 要素のボディに代替テキストを記述する

<事例 1>

object 要素によってレンダリングされるコンテンツに対して、代替テキストを提供します(YouTube、FLASH 等)

良い例

```
<object>
```

```
<p>ここに代替テキストを記述</p>
```

```
</object>
```


2. 時間依存メディア

1) 音声だけ及び映像だけ（収録済み）に代替コンテンツを提供する

関連 JIS 項目: 1.2.1 音声だけ及び映像だけ（収録済み）の達成基準【レベル A】

■ 音声のみ及び映像のみのメディアに代替コンテンツを提供するメリット

- 音声のみのメディアに代替コンテンツを提供することで、耳の聞こえない人に情報を提供することができます。
- 映像のみのメディアに代替コンテンツを提供することで、目の見えない人に情報を提供することができます。

■ 達成方法

- 1-1. 音声のみのメディアと同等の情報をテキスト等でも提供する
- 1-2. 映像のみのメディアと同等の情報をテキストでも提供する

■ 達成例

- 1-1. 音声のみのメディアと同等の情報をテキスト等でも提供する

<事例 1：市歌>

- ▶ [♪神戸市歌\(合唱\)\(神戸市立住吉小学校合唱部\)・・・クリックすると音楽が流れます。](#)

神戸市歌(歌詞)

1. 朝雲(あさぐも)あがれり 光のうず(ひかりのうず)に 伸びゆく(のびゆく)いらかの 虹(にじ)こそかかれ
伝統(でんとう)つとに時代(じだい)に先駆(せんこ)く 絵巻(えまき)とひろがる 歴史(れきし)の都(みやこ)
栄(は)えあれ神戸(ごうぶ) 神戸(ごうぶ) 神戸(ごうぶ) われら(われら)ひらかん
2. 潮(うしほ)の香(か)揺れ(ゆ)れひく 汽笛(きふえ)のすえに 七つ(なな)の海原(うみ) 幸(さい)さちよぶ(よぶ)かどで
躍進(えつしん)きょうぞ 時代(じだい)に勢(せい)お(お)えり 名(な)だたる(だたる)海港(かいこう) 世界(せかい)の都(みやこ)
栄(は)えあれ神戸(ごうぶ) 神戸(ごうぶ) 神戸(ごうぶ) われら(われら)興(おこ)さん

○ 良い例

近年では動画での提供が増えてきていますが、リンクテキストをクリックすると mp3 などの音楽ファイルがあります。その場合は、音声と同等の情報をテキストで提供してください。

2) 時間の経過の伴い変化するメディアの音声と映像に代替コンテンツを提供する

関連 JIS 項目: 1.2.2 キャプション(収録済み)の達成基準【レベル A<一部除外>】
1.2.3 音声解説又はメディアに対する代替コンテンツ(収録済み)の達成基準【レベル A<一部除外>】

■時間の経過の伴い変化するメディアの音声と映像に代替コンテンツを提供するメリット

- 時間の経過の伴い変化するメディアの音声に代替コンテンツを提供することで、耳の聞こえない人に情報を提供することができますようになります。
- 時間の経過の伴い変化するメディアの映像に代替コンテンツを提供することで、目の見えない人に情報を提供することができますようになります。

■達成方法

2-1. 時間の経過の伴い変化するメディアの音声と映像の内容が分かる概要を、テキストでも提供する

■達成例

2-1.時間の経過の伴い変化するメディアの音声と映像の内容が分かる概要を、テキストでも提供する

<事例1: 5ch 毎週更新! こうべ動画館>

○ 良い例

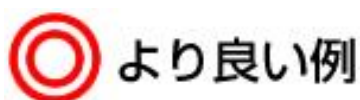
動画の概要を提供している良い例です。

▶ 神戸ルミナリエ



阪神・淡路大震災があった1995年に初めて開催された「神戸ルミナリエ」。震災の記憶を次世代に語り継ぎ、神戸のまちの夢と希望を象徴する光として、毎年開催されています。18回目となる今年のテーマは「光の絆」。東日本大震災被災地との絆と交流を深めることも大切な目的となります。光のデザインにこめられた意味や、学生達を中心とする被災地支援の活動をご紹介します。

より詳細に動画の概要を提供すれば、動画を見ることができない人が、より理解できるようになります。次ページにより良い例を掲載します。



テキストでの概要提供しているより良い事例

【最旬神戸】

今回のテーマは「神戸ルミナリエ」

ナビゲーター: 神戸市広報専門官 松下麻里さん

担当スタッフ: 神戸ルミナリエ組織委員会事務局 稜野敦雄事務局長さん

<準備中のルミナリエの前でルミナリエを紹介する松下さんと稜野さん2人の映像>

<松下さん>

今年も神戸ルミナリエの季節がやってきました。

見どころをたっぷり教えていただきたいと思います。

<稜野さん>

阪神・淡路大震災があった 1995 年に初めて「神戸ルミナリエ」は開催されました。

震災で観光は打撃を受けましたが、多くの人に助けていただきました。

神戸を元気づけるとともに震災の時にお世話になった皆様に神戸を見て頂こうとルミナリエが始まりました。

亡くなられた方への鎮魂、また新しい年を迎えるにあたり復興と再生への願いが込められています。

<夜に美しく輝くルミナリエの映像と稜野さんによる映像の紹介>

今年のテーマは「光の絆」です。

物事には初めと終わりが存在し、その間を光の絆で結んでいることを意味しています。

三宮の三井住友銀行東側から始まるフロントーネは高さ 24 メートル。「記憶への扉」というタイトルです。

ギリシャ文字の始まり「α(アルファ)」を題材としたデザインです。

次に高さ約 15 メートルのアーチ上の光の回廊が約 270 メートル続きます。

ギャラリー「空の回廊」というタイトルです。

上を見あげて歩くと空に浮かんでいるような気持ちになります。

空の回廊を通り抜けると、東遊園地に全長約 150 メートルの大きなスパッリエーラ「光の到達点」という光の壁掛け作品が現れます。ギリシャ文字の最後「Ω(オメガ)」を題材としたデザインです。

そこにはカッサ・アルモニカ「光の記念堂」があり、神戸ルミナリエでは大きな募金箱となっています。

小さな鐘がつるされていて、コインを投げて鐘にあたると「願いが叶う」「良いことがある」という噂もあります。

広場の左側を光の小道「光の戯れ」というタイトルの小型の作品群があります。

光の小道の作品には今年実験的に LED 電球を使用しています。

<再び、準備中のルミナリエの前でルミナリエを紹介する松下さんと稜野さん2人の映像>

<松下さん>

なるほど。それぞれにいろいろな意味合いが込められているんですね。

3. 適応可能

1) ウェブコンテンツの情報と関係性を適切にマークアップする

関連 JIS 項目: 1.3.1 情報及び関係性の達成基準【レベル A】

■ウェブコンテンツの情報と関係性を適切にマークアップするメリット

- ウェブコンテンツの情報を HTML を用いて適切にマークアップすることで、視覚に頼ることなく情報を提供することが可能になります。

■達成方法

- 1-1. h1 要素～h6 要素を用いて、見出しを特定する
 - 1-2. リストには、ol 要素、ul 要素、dl 要素を用いる
 - 1-3. デザインの為の要素を HTML で使用しない (font color、font size、b 等)
 - 1-4. 太字等の強調箇所は strong、em 要素を用いる
 - 1-5. 参照箇所、cite 要素を用いる
 - 1-6. 引用箇所、blockquote 要素を用いる
 - 1-7. 下付き文字、上付き文字に、sub、sup 要素を用いる
 - 1-8. テキストの表現をバリエーションによって情報を伝えない
 - 1-9. レイアウト table は基本的に使用しない。使用する際は、caption、th、summary を使用しない。
 - 1-10. データ table を使用する際は、caption、tr、th、td を適切に使用する
 - 1-11. label 要素を用いて、テキストのラベルとフォーム・コントロールを関連付ける
label 要素を用いることができないとき、title 属性を用いてフォーム・コントロールを特定する
 - 1-12. ページにコンテンツを追加する場合、DOM (ドキュメント・オブジェクト・モデル) を用いる
 - 1-13. 関連したリンクをグループ化するために、nav 要素を使用する
- ※上記の達成方法で対応できない場合は WAI-ARIA の適用を検討してください。

WCAG 2.0 達成方法集 <https://waic.jp/docs/WCAG-TECHS/Overview.html>

■達成例

1-1.h1 要素～h6 要素を用いて、見出しを特定する

<事例 1: 見出しが無いページ>

神戸市 用途地域 町丁名索引

北区

あ	い	か	き	こ	し	す	せ	そ	た	つ	と	な	に
は	ひ	ふ	ま	み	や							わ	

●北区の50音別町名一覧です。ご覧になりたい町丁名をクリックし、表示された画面をスクロールしてご覧ください。

あ				
青葉台	赤松台1丁目	赤松台2丁目	有野台1丁目	有野台2丁目
有野台3丁目	有野台4丁目	有野台5丁目	有野台6丁目	有野台7丁目
有野台8丁目	有野台9丁目	有野町有野	有野町唐櫃	有野町二郎
有野中町1丁目	有野中町2丁目	有野中町3丁目	有野中町4丁目	有馬町
い				
泉台1丁目	泉台2丁目	泉台3丁目	泉台4丁目	泉台5丁目
泉台6丁目	泉台7丁目			



悪い例

スクリーンリーダーは、見出しだけをピックアップして読み進むことが可能です。

見出しがないと、目的とするコンテンツに辿りつくまで、すべての文章を読上げなければなりません。

<事例 2 : 見出しが適切にマークアップされたページ>

h1 子育てしやすいまち

h2 子育て情報の発信

- 子育て情報の発信
- こうべ子育て応援LINE (こうべ子育て応援メール)
- KOBE子育て応援団
- 「神戸市新子育て応援サイト開発業務」公募型プロポーザル実施について

h2 保育所等利用待機児童数(令和4年4月1日時点)

h2 神戸っすこやかプラン2024

- 神戸っすこやかプラン2024のあらまし
- 取り組み1 仕事と子育ての両立支援
- 取り組み3 特に支援が必要な子どもたち・家庭への支援
- 取り組み4 地域における子育て支援・青少年の健全育成
- 取り組み5 幼児期の教育・保育の質の向上・小学校教育との連携

h2 就園、就学の援助・奨学金制度

- 就学援助のご案内
- 奨学金・授業料免除 (高校・大学)
- 出身校など、私立高校を選んで応援しよう! (神戸のふるさと納税の使い道)

→ 一覧を見る

○ 良い例

スクリーンリーダーで、見出しだけをピックアップして読み進み、目的とするコンテンツに素早く辿りつくことができます。

見出しのマークアップは、h1→h2→h3→h4→h5→h6 の順番に設定します。

h1→h2→h2→h3 となるのは問題ないですが、h1 が無かったり、順番が h1→h3→h2 とならないよう注意してください。

事例 2 HTML

```
<h1>子育てしやすいまち</h1>
<h2>子育て情報の発信</h2>
<h2>保育所等利用待機児童数(令和4年4月1日時点)</h2>
<h2>神戸っすこやかプラン 2024</h2>…
```

1-2. リストには、ol 要素、ul 要素、dl 要素を用いる

リスト要素を使用すると、視覚以外でも、リストであることを支援技術が認識できる可能性があります。

<事例 1 : ul 要素 … 箇条書き>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 春 ・ 夏 ・ 秋 ・ 冬 	✕	悪い例	<pre><p> ・ 春
 ・ 夏
 ・ 秋
 ・ 冬
 </p></pre>	○	良い例	<pre> 春 夏 秋 冬 </pre>
--	---	-----	---	---	-----	---

<事例 2 : ol 要素 … 番号つき箇条書き>

<ol style="list-style-type: none"> 1. 春 2. 夏 3. 秋 4. 冬 	✕	悪い例	<pre><p> 1. 春
 2. 夏
 3. 秋
 4. 冬
 </p></pre>	○	良い例	<pre> 春 夏 秋 冬 </pre>
--	---	-----	---	---	-----	---

<事例 3 : dl 要素 dt 要素、dd 要素… 用語とその定義>

	✕ 悪い例	○ 良い例
春	<code><p></code>	<code><dl></code>
立春から立夏	<code>春
</code>	<code><dt>春</dt></code>
夏	<code>立春から立夏
</code>	<code><dd>立春から立夏</dd></code>
立夏から立秋	<code>夏
</code>	<code><dt>夏</dt></code>
秋	<code>立夏から立秋
</code>	<code><dd>立夏から立秋</dd></code>
立秋から立冬	<code>秋
</code>	<code><dt>秋</dt></code>
冬	<code>立秋から立冬
</code>	<code><dd>立秋から立冬</dd></code>
立冬から立春	<code>冬
</code>	<code><dt>冬</dt></code>
	<code>立冬から立春</code>	<code><dd>立冬から立春</dd></code>
	<code></p></code>	<code></dl></code>

1-3.デザインの為の要素を HTML で使用しない (font color、font size、b 等)

文字や背景の色・文字のサイズを HTML で指定すると、ユーザの閲覧環境で「色変更」「文字サイズ変更」等ができない場合があります。色やサイズといったレイアウトの為の要素を指定する時は、HTML で指定するのではなく CSS で指定してください。

<事例 1 : 文字色>

(必須)

✕ 悪い例 色を HTML で指定する。以下、HTML 悪い例

```
<font color="red"> (必須) </font>
```

○ 良い例 色を CSS を用いて指定する。以下、CSS 良い例

```
# {
  color: #ff0000;
}
```

<事例 2 : 文字サイズ>

(必須)

✕ 悪い例 サイズを HTML で指定する。以下、HTML 悪い例

```
<font size="16px"> (必須) </font>
```

○ 良い例 サイズを CSS を用いて指定する。以下、CSS 良い例


```
# {
  font-size: 1em;
}
```

1-4.太字等の強調箇所は strong、em 要素を用いる


文字を太くして強調する箇所は、strong、em 要素を用いてください。

<事例 1 : 文字色>

(必須)

 **悪い例** 太さをで指定している悪い例

```
<b> (必須) </b>
```

 **良い例** 太さをで指定している良い例

```
<strong> (必須) </strong>
```

※**『重要』**で太字にしたい文字にはを使用し、ただ、分にアクセントを置くためにはを、太字にしたいためだけの文字は css で使用してください。

1-5. 参照箇所に、cite 要素を用いる

参照していることを示さなければならない文章には、cite 要素を用いてください。

<事例 1>

 **良い例**

```
<cite>吾輩は猫である</cite>という小説がある。
```

1-6. 引用箇所に、blockquote 要素を用いる

引用であることを示さなければならない文章には、blockquote 要素を用いてください。

<事例 1>

 **良い例**

```
<blockquote>
  <p>吾輩は猫である。名前はまだない。</p>
</blockquote>
```

1-7.下付き文字、上付き文字に、sub、sup 要素を用いる

上付き文字には sup 要素。下付き文字には sub 要素を使ってください。

<事例 1>

153m²

 **良い例**

```
153m<sup>2</sup>
```

H₂O

 **良い例**

```
H<sub>2</sub>O
```

1-8.テキストの表現のバリエーションによって情報を伝えない

視覚のみで情報を伝えると、スクリーンリーダー等では違いが分かりません。情報は文章で伝えるようにしてください。

<事例 1：斜体のみで特売を伝えている悪い例と、文章でも（特売品）と書いている良い例>



悪い例

斜体は本日の特売品です。

- りんご
- みかん
- ばなな



良い例

斜体は本日の特売品です。

- りんご(特売品)
- みかん
- ばなな

1-9.レイアウト table は基本的に使用しない。使用する際は、th、summary、caption を使用しない。

データテーブルは、縦軸と横軸で情報が整理されたテーブルです。レイアウトテーブルは、レイアウトの為にだけ使用しているテーブルです。

<事例 1>

■データテーブル … 縦軸と横軸で情報が整理されたテーブル

	午前	午後
月曜日	雨のち曇り	晴れ
火曜日	晴れ	曇り

<事例 2>

■レイアウトテーブル … レイアウトの為にだけ使用しているテーブル

レイアウトテーブルは基本的に使用しないでください。どうしても使用しなければならない必要がある場合は、th、summary、caption を使用しないでください。

<事例 1：th、summary、caption を使用していない例>



```
<table>
  <tr>
    <td></td>
  </tr>
  <tr>
    <td>
      <ul><li>全体 (PDF : 2,479KB) </li>
      <li>ページごと (PDF : 2,946KB) </li></td>
    ...
  </tr>
</table>
```


1-10. データ table を使用する際は、caption、th、td を適切に使用する

データテーブルでは、summary、caption、th、td を使用してください。

- caption … テーブルの表題
- th … テーブルの見出しデータセル
- td … テーブルのデータセル

<事例1: caption、tr、th、td を使用している例>

 良い例

区数表(大人)

区数	キロ程	料金
1区	3キロメートルまで	200円
2区	3キロメートル超～7キロメートル	230円
3区	7キロメートル超～10キロメートル	260円
4区	10キロメートル超～13キロメートル	300円
5区	13キロメートル超～16キロメートル	330円
6区	16キロメートル超～19キロメートル	360円
7区	19キロメートル超～23キロメートル	390円
8区	23キロメートル超～27キロメートル	420円
9区	27キロメートル超	450円

```

<table>
<caption>区数表(大人)</caption>
<tr>
<th>区数</th>
<th>キロ程</th>
<th>料金</th>
</tr>
<tr>
<td><a href="ryokin01.html">1区</a></td>
<td>3キロメートルまで</td>
<td>200円</td>
</tr>
...
</table>
    
```

<事例2: 良くないテーブルの使用例>

 悪い例

セルを結合すると、スクリーンリーダーで読み上げた場合、間違った情報になる場合があります。

	午前	午後
月曜日	曇り	曇り
火曜日	曇り	晴れ
水曜日	雨	晴れ

音声読み上げ「午前 午後
月曜日 曇り 曇り
火曜日 晴れ
水曜日 雨」

 良い例

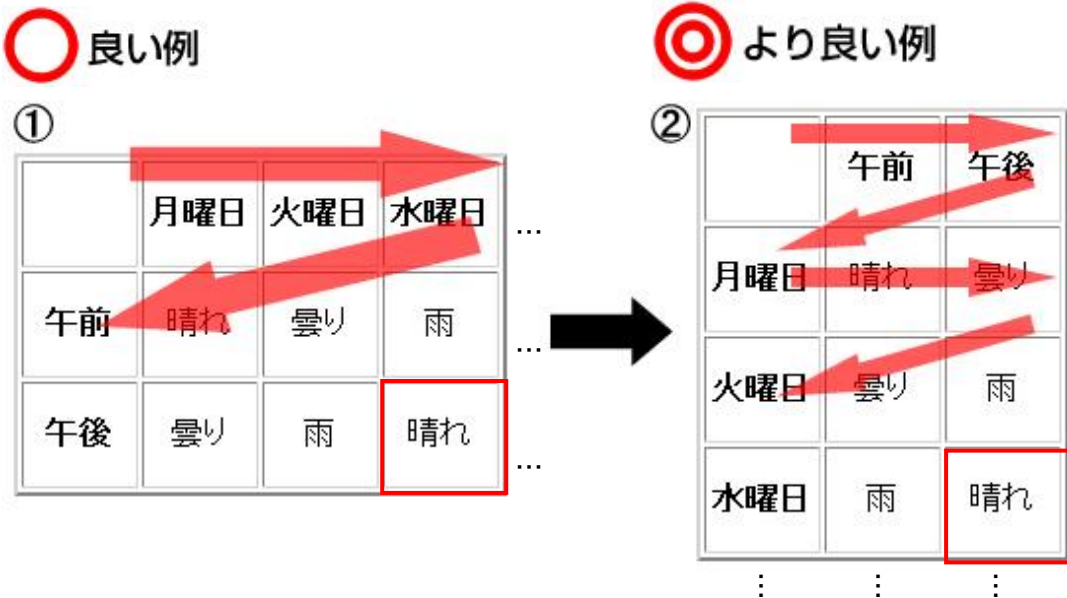
セルを結合しなければ、スクリーンリーダーは左から右にスムーズに読み上げます。

	午前	午後
月曜日	曇り	曇り
火曜日	曇り	晴れ
水曜日	雨	晴れ

音声読み上げ「午前 午後
月曜日 曇り 曇り
火曜日 曇り 晴れ
水曜日 雨 晴れ」

<事例 3 : より良いテーブルの使用例>

スクリーンリーダーの左から右に読み上げます。聞き手は一行目を暗記する必要があります。一行目が1のように「月曜日 火曜日 水曜日 木曜日 金曜日 土曜日 日曜日」となっている場合、水曜日の午後の天気は「晴れ」であることがすぐに理解しづらいです。2のようにすれば、水曜日の午後の天気は「晴れ」であることが、すぐに理解できます。



1-11.label 要素を用いて、テキストのラベルとフォーム・コントロールを関連付ける
label 要素を用いることができないとき、title 属性を用いてフォーム・コントロールを特定する

■ label 要素を用いて、ラベルとフォーム・コントロールを関連付けている例

<事例 1 : お名前入力欄>

「お名前」という文字をクリックすると、テキストフィールドにカーソルが表示します。



```
<label for="firstname">お名前:</label>
<input type="text" name="firstname" id="firstname" />
```

<事例 2 : ラジオボタン>

「長田区」等、各区を選択すると、ラジオボタンにチェックが入ります。

神戸市

お住まいの区を選択してください

- 長田区
- 垂水区
- 中央区


```
<h1>神戸市</h1>
<p>お住まいの区を選択してください。</p>
<form action="http://000.com/000" method="post">
<p>
  <input type="radio" name="kobe" id="nagata" value="nagata" />
  <label for="nagata">長田区</label><br/>

  <input type="radio" name="kobe" id="tarumi" value="tarumi"/>
  <label for="tarumi">垂水区</label><br/>
  <input type="radio" name="kobe" id="chuo" value="chuo"/>
  <label for="chuo">中央区</label>
</p>
</form>
```

■label 要素を用いることができないとき、title 属性を用いてフォーム・コントロールを特定している例

<事例 3：電話番号>

一番最初のテキストフィールドにカーソルを合わせると、「市外局番」というタイトル属性が表示されます（ブラウザにより異なります）。



```
<fieldset><legend>電話番号</legend>
<input id="areaCode" name="areaCode" title="市外局番"
type="text" size="3" value="" >
<input id="exchange" name="exchange" title="電話番号の上 3 桁"
type="text" size="3" value="" >
<input id="lastDigits" name="lastDigits" title="電話番号の下 4 桁"
type="text" size="4" value="" >
</fieldset>
```

1-12. ページにコンテンツを追加する場合、DOM（ドキュメント・オブジェクト・モデル）を用いる

原則としてプログラムは使用しないでください。

使用しなければならない理由がある時は、DOM を用いてください。

1-13. 関連したリンクをグループ化するために、nav 要素を使用する

<事例>ナビゲーション



```
<nav id="nav">
  <ul>
    <li><a href="/xxx.html">暮らし・手続き</a></li>
    <li><a href="/xxx.html">子育て・教育</a></li>
    <li><a href="/xxx.html">健康・医療・福祉</a></li>
    <li><a href="/xxx.html">防災・安全</a></li>
    <li><a href="/xxx.html">観光・文化・産業</a></li>
    <li><a href="/xxx.html">ビジネス</a></li>
    <li><a href="/xxx.html">市政情報</a></li>
  </ul>
  <ul>
    <li><a href="/xxx.html">ふりがな表示</a></li>
    <li><a href="/xxx.html">文字サイズ・色合い変更</a></li>
    <li><a href="/xxx.html">音声読み上げ</a></li>
    <li><a href="/xxx.html">Global site</a></li>
  </ul>
</nav>
```

2) コンテンツの意味を理解するのに必要な音声読み上げの順序を保つ

関連 JIS 項目:1.3.2 意味のある順序の達成基準【レベル A】

■コンテンツの意味を理解するのに必要な音声読み上げの順序を保つメリット

- 視覚で順序良く適切に配置された情報を、スクリーンリーダーでも順序よく適切に提供することが可能になります。

■達成方法

- 2-1. コンテンツを意味のある順序で並べる
- 2-2. 単語の文字間にスペースやタグを用いない



2-1.コンテンツを意味のある順序で並べる

更新時には、音声読み上げボタンを押して、全体的に視覚情報と同様の順序で読み上げされるかを確認してください。

2-2.単語の文字間にスペースやタグを用いない


単語の文字間にスペースを用いると、音声読み上げでは以下のようにになります。


<事例 1：単語や文字間にスペースを用いている例>

 悪い例		 良い例	
単語	読み上げ例	単語	読み上げ例
神戸	カミ ト	神戸	コウベ

文字間にスペースを用いる以外にも、気を付けなければならないことがあります。

<事例 2：単語や文字間にスペース以外で気を付けないといけない例>

 悪い例	
単語	読み上げ例
2023/4/1	ニセンジュウサンスラッシュヨンスラッシュイチ
R5	アールゴ
1:00	イチコロゼロゼロ

 良い例	
単語	読み上げ例
2023 年 4 月 1 日	ニセンニジュウサンネンシガツツイタチ
令和 5 年	レイワゴネン
1 時	イチジ

3) 理解すべき情報を感覚的にだけ伝えることのないように、テキストでも情報を伝える

関連 JIS 項目:1.3.3 感覚的な特徴の達成基準【レベル A】

■ 感覚だけでなくテキストでも情報を伝えるメリット

- 形や位置など感覚的な視覚情報にテキスト情報を補足することで、スクリーンリーダー等にも情報を提供することができるようになります。

■ 達成方法

3-1. 理解すべき情報を感覚的にだけ伝えることのないように、テキストでも情報を伝える

3-1.コンテンツを意味のある順序で並べる

<事例 1: 感覚(形)によって情報を伝えている悪い例と、テキストでも情報を伝えている良い例>

 悪い例



 良い例



[このページの先頭へ](#)

4. 識別可能

1) 色の違いだけで情報を伝えない

関連 JIS 項目:1.4.1 色の使用の達成基準【レベル A】

■色の違いだけで情報を伝えないことのメリット

- ロービジョンや色弱を持つ利用者が、色で伝えられている情報をその他の視覚的な手段で知覚できるようになります。
- モノクロのディスプレイを使用している利用者が、色に依存している情報を知覚できるようになります。

■達成方法

- 1-1. リンク又はコントロールは、その文字色と周囲にあるテキストとのコントラスト比を 3:1 以上にする
- 1-2. テキストの色の違いで情報を伝える際は、視覚的な手がかりを補足する
- 1-3. 色の違いで伝えている情報をテキストでも入手可能にする
- 1-4. 色とパターンを併用する

■達成例

- 1-1. リンク又はコントロールは、その文字色と周囲にあるテキストとのコントラスト比を 3:1 以上にする

<事例 1: その文字色と周囲にあるテキストとのコントラスト比を 3:1 以上のリンク例>



悪い例

育児を応援する行政サービスガイド

[☞ KOBE 子育て応援団「ママフレ」\(外部リンク\)](#)



良い例

育児を応援する行政サービスガイド

[☞ KOBE 子育て応援団「ママフレ」\(外部リンク\)](#)

- 1-2. テキストの色の違いで情報を伝える際は、視覚的な手がかりを補足する

<事例 1: 色がついている箇所の装飾を加える>



悪い例

赤字は政令指定都市です。

- ・神戸市
- ・芦屋市
- ・尼崎市



良い例

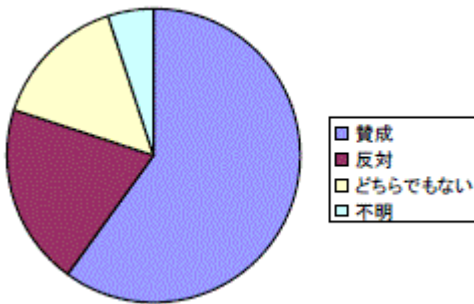
赤字(イタリック)は政令指定都市です。

- ・神戸市
- ・芦屋市
- ・尼崎市

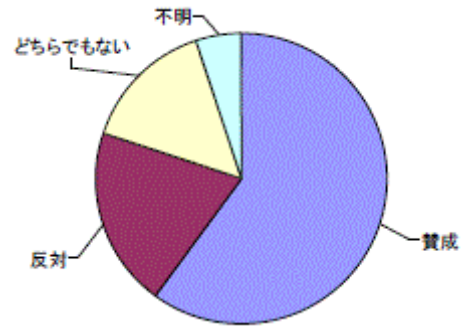
※文字サイズ、フォント、下線の付与などの装飾でも問題ございません。

<事例 2 : グラフに引き出し線をつける>

✕ 悪い例



○ 良い例

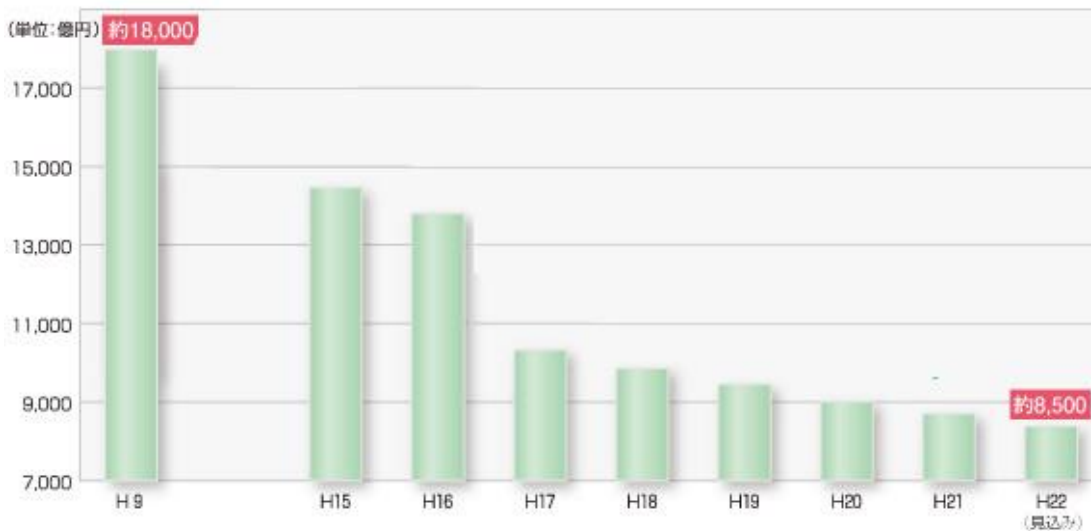


1-3.色の違いで伝えている情報をテキストでも入手可能にする

<事例 1 : 色の違いだけで情報を伝えているグラフ>

画像グラフを用いる際には、本文(テキスト)にグラフの内容が分かる文章を記述してください。

○ 良い例



(本文)市債残高約 1 兆 8,000 億円(平成 9 年度)から約 8,500 億円(平成 22 年度)と、半分以上削減しました。市民一人あたりの市債残高は、政令指定都市 19 市の中で 11 番目に少なく、ほぼ平均レベルまで戻すことができています。

<事例 2 : 色の違いだけで必須項目を伝えているメールフォーム>

✕ 悪い例

赤字は必須です。必ずご入力ください。

お名前

○ 良い例

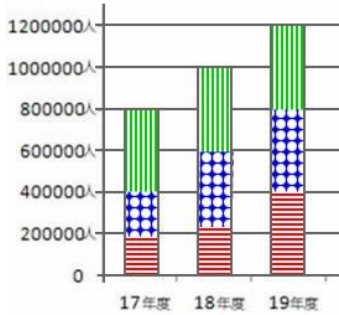
(必須) の項目は必ずご入力ください。

お名前(必須)

1-4.色とパターンを併用する

<事例1：パターンを用いたグラフ>

〇〇市人口の遷移



人口の遷移

17年度 全体 800,000 人

内訳:0歳~19歳 200,000人、20歳~64歳 200,000人、
65歳以上 400,000人

18年度 全体 1,000,000 人

内訳:0歳~19歳 200,000人、20歳~64歳 400,000人、
65歳以上 400,000人

19年度 全体 1,200,000 人

内訳:0歳~19歳 400,000人、20歳~64歳 400,000人、
65歳以上 400,000人

- …緑の垂直線は 65 歳以上、
- …青のドットは 20 歳以上
- …赤の水平線は 0 歳以上

※グラフは、達成例 1-2(事例 2)、1-3(事例 1)、1-4 のいずれか、又は組み合わせて実装してください。
可能であれば 1-3(事例 1)のテキストで同等の情報を提供することを最優先してください。

2) 利用者の要求に応じてのみ、音声を再生する

関連 JIS 項目:1.4.2 音声の制御の達成基準【レベル A】

■ 利用者の要求に応じてのみ、音声を再生するメリット

- スクリーンリーダーを使用している利用者が、他に再生されている音声に邪魔されることなく、スクリーンリーダーの音声を聞くことができるようになります

■ 達成方法

2-1. 利用者の要求に応じてのみ、音声を再生する

■ 達成例

2-1. 利用者の要求に応じてのみ、音声を再生する

音声は自動再生せず、クリックしたら音声再生するよう設定してください。

<事例 1: ホームページの音声読み上げシステム再生>



<事例 2: 動画の再生>赤い再生ボタンあり



<事例 3: 音声の再生>

- 神戸市歌(オルゴール風メロディ)・・・クリックすると音楽が流れます。

3) 背景と文字とのコントラストを十分に確保する

関連 JIS 項目:1.4.3 コントラスト(最低限レベル)の達成基準【レベル AA】

■背景と文字とのコントラストを十分に確保するメリット

- 背景と文字とのコントラストを十分に確保することで、弱視や色覚障害を持つ利用者が文字を認識しやすくなります。

■達成方法

3-1. 太字でないテキストが 18 ポイント(日本語は 22 ポイント)未満、太字のテキストが 14 ポイント(日本語は 18 ポイント)未満の場合、テキスト(及び文字画像)とその背景の間に、少なくとも 4.5:1 以上のコントラスト比をもたせる

3-2. 太字でないテキストが少なくとも 18 ポイント(日本語は 22 ポイント)以上、太字のテキストが少なくとも 14 ポイント(日本語は 18 ポイント)以上の場合、テキスト(及び文字画像)とその背景の間に、少なくとも 3:1 以上のコントラスト比をもたせる

■達成例

3-1. 太字でないテキストが 18 ポイント(日本語は 22 ポイント)未満、太字のテキストが 14 ポイント(日本語は 18 ポイント)未満の場合、テキスト(及び文字画像)とその背景の間に、少なくとも 4.5:1 以上のコントラスト比をもたせる

<事例 1: 太字でないテキストが 18 ポイント(日本語は 22 ポイント)未満の例>

●神戸市ホームページより抜粋

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号 Tel: 078-331-8181(代表) [所在地・地図](#)

■コントラストを計測する方法

※コントラストを調べる無料ツールはいくつかあります。ここでは、その1つをご紹介します。

カラー・コントラスト・アナライザー <http://www.infoaxia.com/tools/cca/index.html>

神戸市会 (市議会)

事業者の方へ

ちづくり

カラーコントラストアナライザー - 2013J

オプション(O) 色変換シミュレーション(I) ヘルプ(H)

前景色
色を選択: [Color Picker] Hex: #F0F0F0

背景色
色を選択: [Color Picker] Hex: #FFFFFF

色覚タイプごとのシミュレーション結果を表示

結果 - コントラスト比
コントラスト比:【1.14:1】

詳細を表示

通常のサイズ
× [Result]

大きな文字
× [Result]

AA: 不適合

AAA: 不適合

区の情報 採用情報 記者発表資料

→ 市灘区 → 袖石市職員 → 最新の記者発表資料

カラー・コントラスト・アナライザーでは、背景色と文字色のコントラストを簡単に測ることができます。

4) テキストのサイズを利用者が変更できるようにする

関連 JIS 項目:1.4.4 テキストのサイズ変更の達成基準【レベル AA】

■テキストのサイズを利用者が変更できるメリット

- ・ 高齢者など、軽度の視覚障害を持つ利用者が、画面拡大ソフトのような支援技術を使わずにそのまま読むことができるようになります。

■達成方法

4-1. テキストやテキストコンテナのサイズ指定には、px や pt 等の絶対指定ではなく、em、%等の相対指定を用いる

4-2. 文字サイズを変更しても、コンテンツの機能が損なわれていないかを確認する

■達成例

4-1. テキストやテキストコンテナのサイズ指定には、px や pt 等の絶対指定ではなく、em、%（パーセント）等の相対指定を用いる

<事例 2：テキストコンテナを絶対指定していて、文字を拡大してもテキストコンテナサイズが拡大しない例>

✕ 悪い例

通常の文字サイズでの表示 拡大した時に文字が途切れている例 拡大した時に文字がはみ出している例

市政やくらし、イベント情報などのお問い合わせは、神戸市総合コールセンターまで。

市政やくらし、イ
ベント情報などのお

市政やくらし、イ
ベント情報などのお

問い合わせは、

※ウェブサイト上の文字拡大機能と、ブラウザ側の文字拡大機能の確認が必要になります。

4-2 文字サイズを変更しても、コンテンツの機能が損なわれていないかを確認する

ページの作成を行った際は文字を 200%まで拡大して、コンテンツの機能が損なわれている箇所が無いかを確認する。

◎コンテンツの機能が損なわれる例

- ・ 枠からはみだす、納まりきらないなどで、文字が読めない
- ・ レイアウトが崩れ、画像リンクや実行ボタンが他のコンテンツと重なってクリックできない

5) 必要不可欠な場合を除いて、文字を画像化しない

関連 JIS 項目:1.4.5 文字画像の達成基準【レベル AA】

■文字を画像化しないメリット

- 文字を画像にしないことで、文字の拡大や色の変更など利用者が閲覧しやすい状態に変更することが可能になります。

■達成方法

5-1. 必要不可欠な場合を除いて、文字を画像化しない

■達成例

5-1. 必要不可欠な場合を除いて、文字を画像化しない

<事例1: 必要不可欠な例>

○ 良い例

● ロゴ



● 画像のうえの文字



● デザイン上画像であることが不可欠な文字



5. キーボード操作可能

1) キーボードのみで操作できるようにする

関連 JIS 項目: 2.1.1 キーボードの達成基準【レベル A】
2.1.3 キーボード(例外なし)の達成基準【レベル AAA】

■キーボードのみで操作できるメリット

以下の利用者がウェブページを操作できるようになります。

- マウス操作ができない全盲の方
- 画面上のポインタを見つけたり、目で追うのが困難な弱視の方
- 手が震えてマウスを使うのが困難な方

■達成方法

- 1-1. a 要素の href 属性を用いる
- 1-2. 入力フォームには、HTML のフォーム・コントロールを用いる
- 1-3. マウスによるクリック、またはキーボードによるエンターでアクションが起こるよう設定する

■達成例

1-1. a 要素の href 属性を用いる

<事例 1: マウスでクリックしても、キーボードでエンターを押しても、操作できる例>

[神戸市トップページへ](#)

```
<a href="http://www.city.kobe.lg.jp/">神戸市トップページへ</a>
```

1-2. 入力フォームには、HTML のフォーム・コントロールを用いる

<事例 1: キーボード操作可能な HTML のフォーム・コントロール>

button、fieldset、legend、input type = "button"、input type = "submit"、input type = "reset"、input type = "image"、input type = "text"、input type = "password"、input type = "checkbox"、input type = "radio"、select、option、textarea

※入力フォームを作成する際は、マウスでクリックしても、キーボードでエンターを押しても、操作できる上記の要素や属性を用いる。

1-3. マウスによるクリック、またはキーボードによるエンターでアクションが起こるよう設定する

<事例 1: マウスオーバーだけでアクションが起っている例>

 悪い例

[マウスオーバーすると別ページが開くリンク](#)

 良い例

[クリックすると別ページが開くリンク](#)

2) キーボードフォーカスでユーザーをコンテンツ内に閉じ込めない

関連 JIS 項目:2.1.2 キーボードトラップなしの達成基準【レベル A】

■キーボードフォーカスを閉じ込めないメリット

- 全盲の利用者及び身体障害のある利用者など、キーボード又はキーボード・インタフェースだけを使用している利用者がウェブコンテンツを利用できるようになります。

■達成方法

2-1. キーボードフォーカスでユーザーをコンテンツ内に閉じ込めない

■達成例

2-1. キーボード操作のみでウェブページのすべてのコンテンツを操作することができ、他のウェブページへも移動できる。

キーボードフォーカスがコンテンツの一部で閉じ込められてしまい、コンテンツの一部から抜け出せなくなって、コンテンツの残りの部分へ移動することができないというようなことが無いようウェブページを制作する。

外部サービス(iframe 要素で挿入していたり、object 要素にて提供されている)のコンテンツにあるパターンです

6. 十分な時間

1) 制限時間は原則として設けない

関連 JIS 項目: 2.2.1 タイミング調整可能の達成基準【レベル A】

■ 制限時間を設けないメリット

以下の利用者がウェブページの情報をすべてを閲覧できるようになります。

- 反応したり、入力したり、タスクを完了するのに、より長い時間を要することが多い身体に障害を持つ方
- 画面上で何かを探したり、読んだりするのに時間がかかる弱視の方
- 画面のレイアウトを理解したり、情報を見つけたり、操作したりするのに時間がかかることが多いスクリーンリーダーを使用している全盲の方
- 音声が届かなくて手話でコミュニケーションしている方

■ 達成方法

1-1. 制限時間は原則として設けない。設定する必要がある場合は、20 時間以上とする

■ 達成例

1-2. 制限時間を設定する時は、20 時間以上とする

<事例 1 : 20 時間以上の時間制限を設けたイベントの申込フォーム>

○ 良い例

○○イベント

日時 2013 年 5 月 1 日水曜日 午後 1 時～5 時

場所 ○○○○

申込期間 2013 年 4 月 1 日～4 月 10 日まで

以下のお申込みフォームからお申込みください。

○○イベントお申込みフォーム

必須項目は必ずご入力ください。

お名前 (必須)

住所

電話番号

メールアドレス

その他

2) 自動更新するコンテンツや動きのあるコンテンツは、利用者が停止できるようにする

関連 JIS 項目:2.2.2 一時停止, 停止及び非表示の達成基準【レベル A】

■自動更新するコンテンツや動きのあるコンテンツを、利用者が停止できるメリット

以下の利用者がウェブページの情報を最後まで閲覧できるようになります。

- 閲覧に時間がかかる障害を持つ利用者が、ウェブページと情報のやりとりをできるようになります。
- 点滅を使用しないことで、識字障害を持つ利用者の意識を妨げることがなくなります。

■達成方法

2-1. スクロールする文字は基本的に使用しない

2-2. コンテンツを一時停止させて、一時停止させたところから再開できるようにする

2-3. 点滅するコンテンツは原則として使用しない。

使用する必要がある場合は、5秒未満で点滅が終わるようにコンテンツを作成する

2-4. 数回のループ後(5秒以内)に停止するように、アニメーション GIF を設定する

2-5. 自動更新されるコンテンツを停止させるコントロールを用いる

■達成例

2-1.スクロールする文字は基本的に使用しない

<事例1:スクロールしてループしている文字>

下記のように、左(右)へ自動でスクロールする文字は基本的に使用しない。

←左へスクロール **選挙結果 衆議院選挙自民党が歴史的な大勝** ニュース速報:選

2-2.コンテンツを一時停止させて、一時停止させたところから再開できるようにする

<事例1:一時停止させて、一時停止させたところから再開できるボタン>






自動で動くスライダーなどによく見受けられ、上記のボタン提供は必須です。

2-3.点滅するコンテンツは原則として使用しない。

使用する必要がある場合は、5秒未満で点滅が終わるようにコンテンツを作成する

<事例1:点滅しているコンテンツ例>

 **悪い例**
 →  赤からオレンジに点滅するアイコン

 **良い例**
 **新着情報** 点滅しないアイコン

2-4.数回のループ後（5秒以内）に停止するように、アニメーション GIF を設定する

<事例1：ループしないバナー>

 **良い例**





ループしないバナー

広告バナーによく見受けられます。

2-5.自動更新をさせない。又は自動更新されるコンテンツを停止・再開させるコントロールを用いる

<事例1：自動更新されるチャットや掲示板、SNS>

停止  再開 

Sys > 神戸市アクセシビリティ方針への順守をお願いいたします。(07/27 Fri 11:28:20)

kobe > 以前の方針とどう変わったのですか？(07/27 Fri 11:28:16)

Sys > 達成基準ができました。神戸市はレベル A と AA 一部準拠を目指しています。(07/27 Fri 11:28:15)

kobe > どうすればレベル A と AA の一部準拠ができるのですか？(07/27 Fri 11:28:12)

Sys > 神戸市ホームページ作成ガイドラインを作成しました。(07/27 Fri 11:28:10)

Sys > ガイドラインを確認しながら、ホームページを作成していただくようお願いいたします。(07/27 Fri 11:28:06)

※自動更新されるチャットに一時停止、再開ボタンがある。

<事例2：自動的な移動>

自動更新だけでなく、自動的な移動も行わない。

 **悪い例**

ホームページ移転しました。
5秒後に自動的にジャンプします。

 **良い例**

小学校・特別支援学校の給食の献立表のページは、リニューアルに伴いURLを変更しました。
お手数ですが、下記のURLをクリックしてご覧ください。

<http://www.city.kobe.lg.jp/child/school/lunch/kvusvoku/kond>

7. 発作の防止

1) 閃光を放つコンテンツは原則として設けない

関連 JIS 項目:2.3.1 3回の閃光又は閾値以下の達成基準【レベル A】

■閃光を放つコンテンツは原則として設けないメリット

以下の利用者がウェブページの情報をすべてを閲覧できるようになります。

- 光過敏性発作の疾患のある利用者や光過敏性てんかんのある利用者が、発作を起こすことなくコンテンツを閲覧できるようになります。

■達成方法

1-1. 閃光を放つコンテンツは原則として設けない。設ける必要がある場合は、1 秒間 3 回以下とし、閃光を放つエリアを十分に小さくする

■達成例

1-1. 閃光を放つコンテンツは原則として設けない。設ける必要がある場合は、1 秒間 3 回以下とし、閃光を放つエリアを十分に小さくする。

<事例 1 : 閃光>

 悪い例



8. ナビゲーション可能

1) ブロックスキップができるようにする

関連 JIS 項目: 2.4.1 ブロックスキップの達成基準【レベル A】

■ブロックスキップができるようにするメリット

- 同じサイト上でいくつかのページを訪れるスクリーンリーダーの利用者が、メインコンテンツが読み上げられる前にあるグローバルナビゲーション・リンクを聞かなくてすむようになります。
- キーボード又はキーボード・インタフェースだけを使用している利用者が、より少ないキーストロークだけでコンテンツに到達できるようになります。
- 画面拡大ソフトを使用している利用者が、新しいページで、どこからメインコンテンツが始まるのかを見つけようとして、同じ見出し又はその他の情報のブロックの中を探し回らなくてもすむようになります。

■達成方法

- 1-1. ページの先頭に、コンテンツエリアへのリンクを追加する
 - 1-2. コンテンツの各セクションの開始位置に見出し要素を提供する
 - 1-3. フレームは原則として使用しない。フレームの使用が必要な場合には title 属性を付与する
- ※上記の達成方法で対応できない場合は WAI-ARIA の適用を検討してください。

WCAG 2.0 達成方法集 <https://waic.jp/docs/WCAG-TECHS/Overview.html>

■達成例

1-1. ページの先頭に、コンテンツエリアへのリンクを追加する

<事例 1: 「本文へ」というメインコンテンツにジャンプするリンク>



1-2. コンテンツの各セクションの開始位置に見出し要素を提供する

<事例 1: 見出しが適切にマークアップされたページ>



スクリーンリーダーで、見出しだけをピックアップして読み進み、目的とするコンテンツに素早く辿りつくことができます。

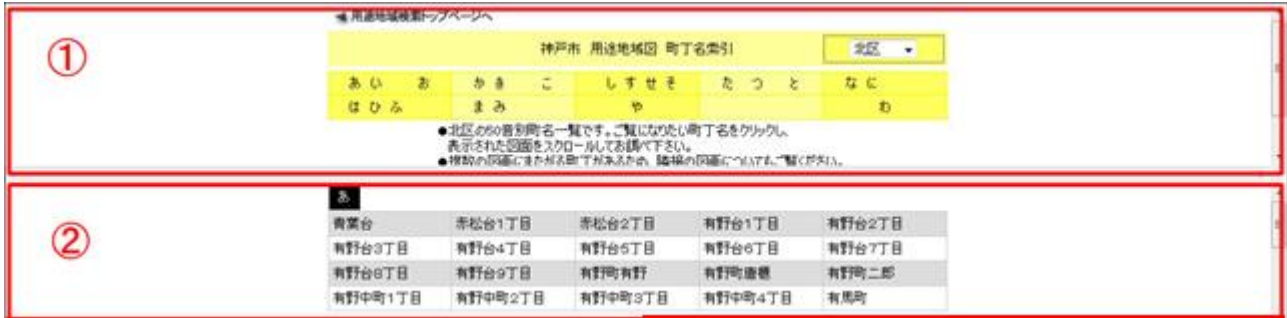
見出しのマークアップは、h1→h2→h3→h4→h5→h6 の順番に設定します。

h1→h2→h2→h3 となるのは問題ないですが、h1 が無かったり、順番が h1→h3→h2 とならないよう注意してください。

1-3. フレームは原則として使用しない。フレームの使用が必要な場合には title 属性を付与する

<事例 1 : title 属性がない例> ※フレームコンテンツを用いる際は、frame 要素と iframe 要素があります。

✕ 悪い例



① <FRAME NAME="menu" SRC="town_kita_m.html" SCROLLING="YES" >

② <FRAME NAME="main" SRC="town_kita.html" SCROLLING="YES" MARGINWIDTH="0" MARGINHEIGHT="0">

○ 良い例

① <FRAME NAME="menu" SRC="town_kita_m.html" SCROLLING="YES" title="神戸市用途地域図 町丁名索引" >

② <FRAME NAME="main" SRC="town_kita.html" SCROLLING="YES" MARGINWIDTH="0" MARGINHEIGHT="0" title="神戸市用途地域図一覧(五十音順)">

○ 良い例



<iframe title="神戸市 eLTAX(エルタックス)利用ガイド:利用届出(新規)"

src="//www.youtube.com/embed/mhJv200ZIGw?rel=0&autoplay=0&loop=0"

allowfullscreen="" width="600" height="350" frameborder="0"></iframe>

※フレームコンテンツがなにであるかが伝わる説明を提供してください。

2) ページの内容を予測できるようなページタイトルをつける

関連 JIS 項目:2.4.2 ページタイトルの達成基準【レベル A】

■ ページの内容を予測できるようなページタイトルをつけるメリット

- そのウェブページにある情報が自分のニーズに関係があるかどうかを、すべての利用者が素早くかつ容易に確認できるようになります。
- 視覚障害のある利用者が、複数のページが開いているとき、コンテンツを区別できるようになります。

■ 達成方法

2-1. ページタイトル冒頭に「神戸市:」と記入し、コンテンツの内容が分かるタイトルを提供する

■ 達成例

2-1. ページの先頭に、コンテンツの各エリアへのリンクを追加する

<事例 1 : 適切なタイトル例>



```
<title>神戸市:ホーム </title>
```

その他の良い事例

```
<title>神戸市:手続き </title>
```

```
<title>神戸市:家庭ごみの出し方 </title>
```

```
<title>神戸市:図書館</title>
```

```
<title>神戸市:市バス</title>
```

など

3) ウェブコンテンツの順序どおりの使いやすいフォーカス順序にする

関連 JIS 項目:2.4.3 フォーカス順序の達成基準【レベル A】

■ウェブコンテンツの順序どおりの使いやすいフォーカス順序にするメリット

以下の利用者がウェブページの情報を理解するのに役立ちます。

- コンテンツの順序どおりの使いやすいフォーカス順序は、ページの操作をキーボード使用に依存している運動障害のある利用者の役に立ちます。
- Tab キーを押下してフォーカスが予期しないどこかへ移動してしまうと、迷子になってしまう恐れがある利用者は、順序よくページを操作することができるようになります。
- 画面拡大ソフトを使用していて、拡大率を高くして一部だけ閲覧している利用者が、文脈を予測することができるようになります。

■達成方法

3-1. ウェブコンテンツの順序どおりの使いやすいフォーカス順序にする

■達成例

3-1. ウェブコンテンツの順序どおりの使いやすいフォーカス順序にする

<事例 1: フォーカス順序がコンテンツ順序と異なる例>

✗ 悪い例

お子様のお名前を入力してください

第一子	第二子
姓 <input type="text"/>	姓 <input type="text"/>
名 <input type="text"/>	名 <input type="text"/>

上記のキーボード操作順序は・・・
第一子の姓 → 第二子の姓 → 第一子の名 → 第二子の名

→ 改善例 1

同じコンテンツ順序のまま tabindex を用いて、キーボード操作順序が以下になるよう変更する。

改善例のキーボード操作順序

姓 → 名 → 姓 → 名

→ 改善例 2 コンテンツ順序を変更する

お子様のお名前を入力してください

第一子

姓 名

第二子

姓 名

上記の音声読み上げ順序及びキーボード操作順序

第一子 → 姓 → 名 → 第二子 → 姓 → 名

※可能な達成方法を実施してください。

4) リンクの表現は、リンク先を予測できる内容にする

関連 JIS 項目:2.4.4 リンクの目的(コンテキスト内)の達成基準【レベル A】
2.4.9 リンクの目的の達成基準【レベル AAA】

■リンクの表現を、リンク先を予測できる内容にするメリット

- リンクがはられたテキストの内容と移動先ページのタイトルが一致していると、利用者は混乱せずに見えます。
- 多くのスクリーンリーダーには、ページ内のリンク部分のみを拾い読みする機能があり、頻繁に利用されています。リンクのはってある言葉だけを読んで、リンク先を予測できれば、効率よく閲覧することができます。

■達成方法

- 4-1. リンクテキストは、それだけでリンク先が予測できる内容にし、「こちら」などの表現は使用しない
- 4-2. リンク画像やイメージマップは、リンク先の内容を予想できるような代替テキストを指定する
- 4-3. PDF など HTML 以外のファイルにリンクをはる場合は、分かりやすさに配慮する
- 4-4. 外部サイトにリンクをはる場合は、分かりやすさに配慮する

※上記の達成方法で対応できない場合は WAI-ARIA の適用を検討してください。

WCAG 2.0 達成方法集 <https://waic.jp/docs/WCAG-TECHS/Overview.html>

■達成例

- 4-1. リンクテキストは、それだけでリンク先が予測できる内容にし、「こちら」などの表現は使用しない

<事例 1: リンクテキスト>



悪い例 コロナウイルスによる食中毒・感染症についての情報。くわしくは[こちら](#)



良い例 [コロナウイルスによる食中毒・感染症にご注意ください](#)

<事例 2: イメージマップ> 17 ページ事例 1-5 をご参照ください

<事例 3: PDF など HTML 以外のファイルにリンクをはる場合>



良い例  [阪神・淡路大震災からの復興への取り組み\(PDF 形式:785KB\)](#)

<事例 4: 外部サイトにリンクをはる場合>



良い例  [学校基本調査\(兵庫県統計課\)\(外部リンク\)](#)

5) 複数の到達手段を提供する

関連 JIS 項目:2.4.5 複数の手段の達成基準【レベル AA】

■ 複数の到達手段を提供するメリット

- サイトをナビゲートする手段を複数提供することによって、利用者が情報をより早く見つけることができるようになります。
- 画面拡大ソフト又はスクリーンリーダーを用いている視覚障害のある利用者は、ナビゲーションバーから探していくよりも、検索機能を使用してサイト内の適切な部分へナビゲートしていくほうが容易なことがあります。
- 認知の障害のある利用者は、いくつものウェブページを読んだり行き来したりするよりも、サイト全体を見渡すことのできる目次又はサイトマップを好むことがあります。

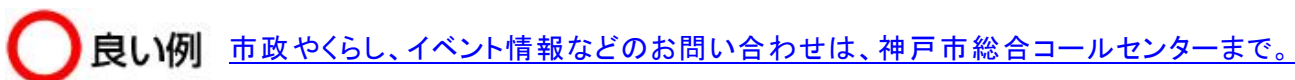
■ 達成方法

- 5-1. 関連するウェブページへナビゲートするリンクを提供する
- 5-2. サイトマップを提供する
- 5-3. 検索機能を提供して、利用者がコンテンツを見つけるのを手助けする

■ 達成例

5-1.関連するウェブページへナビゲートするリンクを提供する

<事例 1：関連するウェブページへナビゲートするリンク>



5-2.サイトマップを提供する

<事例 1：サイトマップを提供し、全ページからサイトマップへリンクする>



5-3.検索機能を提供して、利用者がコンテンツを見つけるのを手助けする

<事例 1：検索機能>



6) 内容が分かる見出しやラベルをつける

関連 JIS 項目:2.4.6 見出し及びラベルの達成基準【レベル AA】

■内容が分かる見出しやラベルをつけるメリット

- 読む速度が遅くなる障害のある利用者及び短期記憶に制約のある利用者にとって、それぞれのセクションの内容を予測できるように見出しが記述されていると役に立ちます。
- スクリーンリーダーで見出しやラベルだけを読み上げた時に、それぞれのセクションの内容を予測できます。
- 一度に全文を見る事のできない弱視のある利用者にも役に立ちます。

■達成方法

- 6-1. 内容が分かる見出しをつける
- 6-2. 目的や内容が分かるラベルを提供する

■達成例

6-1. 内容が分かる見出しをつける

<事例 1：見出しだけで内容が推測できる例> 赤枠箇所はすべて見出し

良い例

The screenshot shows the '神戸市ホームページのご利用案内' (Kobe City Home Page Usage Guide) page. Red boxes highlight several headers: '神戸市ホームページの構成' (Structure of the Kobe City Home Page), 'ホームページの使い方' (How to use the home page), 'ページを使いやすくするには' (How to make the page easier to use), '利用規約・リンク・免責事項など' (Terms of use, links, disclaimers, etc.), 'ウェブアクセシビリティ' (Web accessibility), and 'TLSの利用に際して' (When using TLS). Below these, there are links to various guides and policies, such as 'ウェブアクセシビリティへの基本的な考え方' (Basic ideas for web accessibility) and 'プライバシーポリシー (個人情報の取り扱い)' (Privacy Policy). A 'TOPICS' sidebar is visible on the right.

6-2.目的や内容が分かるラベルを提供する

<事例 1：目的や内容が分かる入力フォームのラベル>

名前を入力しなければならないこと。名前が必須であることが分かる入力フォームのラベル

お名前 (必須)

検索フォーム入力欄や、住所や電話番号、備考などもなにの備考なのかを簡潔に提供してください。

7) フォーカスが視覚的に認識できるようにする

関連 JIS 項目:2.4.7 フォーカスの可視化の達成基準【レベル AA】

■フォーカスが視覚的に認識できるようにするメリット

- キーボードだけでそのページを操作している利用者が、フォーカスされている項目を認識できるようになります。(フォーカスインジケータ)
- 注意力欠如、短期記憶の制約、遂行機能における制限のある利用者が、フォーカスがどこにあるのかを見つけることができるようになります。

■達成方法

7-1. リンク文字やリンク画像にフォーカスされた時、変化が起こるようにする

7-2. フォーム等の入力項目にフォーカスされた時、変化が起こるようにする

■達成例

7-1. リンク文字やリンク画像にフォーカスされた時、変化が起こるようにする

<事例1: リンク文字>

○ 良い例

フォーカス前の状態

➡ サイトマップ ➡ 神戸市ホームページのご利用案内 ➡ プライバシーポリシー ➡ 神戸市役所本庁舎のご案内

フォーカス時の状態

➡ サイトマップ ➡ **神戸市ホームページのご利用案内** ➡ プライバシーポリシー ➡ 神戸市役所本庁舎のご案内

<事例2: リンク画像>

○ 良い例

フォーカス前の状態



フォーカス時の状態(周りに点線枠がでます)



補足情報

フォーカスインジケータについて、デフォルトでは「四角点線枠」になります。

ただ、近年ではブラウザによって見え方が異なったり、フォーカスインジケータを装飾してより見やすいものにカスタマイズすることもあります。

7-2.フォーム等の入力項目にフォーカスされた時、変化が起こるようにする

<事例 1 : 入力フォーム>



フォーカス前の状態

お名前(必須)	<input type="text"/>
	<input type="text"/>

フォーカス時の状態

お名前(必須)	<input type="text"/>
	<input type="text"/>

目的の入力エリアに枠が表示されかつ、キャレット(点滅する縦棒)が表示されます。



8) 現在位置が把握できるようにする

関連 JIS 項目:2.4.8 現在位置の達成基準【レベル AAA】

■現在位置が把握できるようにするメリット

- ウェブページへたどり着くまでに幾つもの段階を経ているうちに困惑してしまう、集中力の続かない利用者の役に立ちます。
- 利用者がリンクで深い階層にあるページへ直接移動した際に、そのページのコンテンツを理解したり、関連するその他の情報を探したりする役に立ちます。

■達成方法

8-1. パンくずリストを提供する

8-2. サイトマップを提供する

■達成例

8-1.パンくずリストを提供する

<事例 1: パンくずリスト>



良い例

ホーム>暮らし・手続き>手続き・届出>電子申請>e-KOBE(神戸市スマート申請システム)操作マニュアル

8-2.サイトマップを提供する

<事例 1: サイトマップを提供し、全ページからサイトマップへリンクする>



良い例


神戸市役所

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1



Copyright © City of Kobe. All rights reserved.

9. 読みやすさ

1) 言語を指定する

関連 JIS 項目: 3.1.1 ページの言語の達成基準【レベル A】
3.1.2 一部分の言語の達成基準【レベル AA】

■言語を指定するメリット

- 言語を適切に指定すれば、スクリーンリーダーが言語を正しく認識して読上げることができるようになります。
- 文中で言語が変わった時も、その都度適切に言語を指定することで、スクリーンリーダーが正しい発音で読み上げる可能性があります。

■達成方法

- 1-1. html 要素の言語属性を用いる
- 1-2. 言語属性を用いて、部分的に用いられている自然言語の変更を指定する

■達成例

1-1. html 要素の言語属性を用いる

<事例 1: ページ全体に日本語の言語属性を用いている例>

良い例

```
<!doctype html>  
<html lang="ja">  
<head>  
<meta charset="UTF-8">  
<title>神戸市: ホーム</title>
```

1-2. 言語属性を用いて、部分的に用いられている自然言語の変更を指定する

<事例 1: 部分的に英語が用いられているページの言語の指定>

良い例

月間現金給与総額(平成23年平均, 兵庫県下, 事業所規模5人以上) Average Monthly Cash Earnings (2011 Average, Hyogo prefecture, Establishments with 5 or more employees)	297,517円
--	----------

```
<tr><td>月間現金給与総額(平成 23 年平均, 兵庫県下, 事業所規模 5 人以上) <br />  
<span class="toukei_contents" lang="en">Average Monthly Cash Earnings<br />  
(2011 Average, Hyogo prefecture, Establishments with&nbsp;5 or more employees)</span></td>  
<td>297,517 円</td></tr>
```

2) 専門用語、省略語、流行語は多用しない

関連 JIS 項目:3.1.3 一般的ではない用語の達成基準【レベル AAA】
3.1.4 略語の達成基準【レベル AAA】

■ 専門用語、省略語、流行語は多用しないメリット

- ホームページで専門用語、省略語、流行語を多用しないこと、また使用する場合に用語の定義を添えることで、文章の内容を困難なく理解できるようになります。

■ 達成方法

- 2-1. 行政用語やその他の専門用語、省略語、流行語などの使用は極力控え、平易な文章を心がける(入札情報のページなど、そのページの利用者が、使用する用語について知識を持っていると想定される場合は、この限りではない)
- 2-2. 各ページにおいて理解が難しいと考えられる専門用語がはじめて出てくる箇所で、用語の意味を括弧書きで併記する
- 2-3. 理解が難しいと考えられる省略語については、用語集にリンクさせる

■ 達成例

- 2-2. 各ページにおいて理解が難しいと考えられる言葉がはじめて出てくる箇所で、用語の意味を括弧書きで併記する

<事例 1：専門用語に意味を併記した例>

<p>③自律移動支援プロジェクトの推進 (企画調整局、保健福祉局、建設局、都市計画総局、みなど総局、交通局等)</p>	<p>国土交通省が推進する自律移動支援プロジェクト(駅や道路などにおいて交通手段や移動経路などの情報を、携帯電話などを通じて、いつでも・どこでも入手できる案内システム) について、平成 17 年度に神戸で実施される社会実験の成果を踏まえ、積極的に協力していく。</p>
<p>④電子カルテや画像データの電子化 (保健福祉局)</p>	<p>市民病院のカルテや画像データの電子化に向けた検討を行う。このことにより、①患者とのコミュニケーションを図ることによるインフォームドコンセント(医師からの十分な説明の上での同意)の推進や、②医療機能に応じた地域医療機関等との連携の推進を図っていく。</p>

2-3. 理解が難しいと考えられる省略語については、用語集にリンクさせる

<事例 1：省略語については、用語集にリンクさせた例>

ページ中の略語が用語集にリンクされている例

ウェブアクセシビリティについては、[WCAG](#) という指針が [W3C](#) によって提唱されている。これを日本で…(省略)

用語集例

- 「WCAG」(Web Content Accessibility Guidelines) W3C が提唱するウェブコンテンツ・アクセシビリティガイドライン。
- 「W3C」(World Wide Web Consortium) WWW で利用される技術の標準化をすすめる団体。

3) 読解レベルに配慮する

関連 JIS 項目:3.1.5 読解レベルの達成基準【レベル AAA】

■読解レベルに配慮するメリット

文章に併せて図やイラストなどを配置することで、内容が伝わりやすくなる場合があります。

- 文章の内容に合わせたイラストや写真などを配置することで、内容をイメージしやすくなります。
- 情報の構成や位置づけを示した模式図を配置することで、内容を理解しやすくなります。

テキストの音声バージョンを提供することで、内容が伝わりやすくなる場合があります。

- 書かれたテキストの言葉を読んで理解するのが難しい利用者には、テキストの音読を聞くのが非常に役立つことがあります。

■達成方法

3-1. 行政用語やその他の専門用語、省略語、流行語などの使用は極力控え、平易な文章を心がける(入札情報のページなど、そのページの利用者が、使用する用語について知識を持っていると想定される場合は、この限りではない)

3-2. 図やイラストなどを適宜取り入れる

3-3. 外国語は多用しない。各ページにおいて外国語がはじめて出てくる箇所で、括弧書きで意味を併記する(達成基準外)

■達成例

3-2. 図やイラストなどを適宜取り入れる

<事例 1: 図やイラストなどを取り入れる>



3-3. 外国語は多用しない。各ページにおいて外国語がはじめて出てくる箇所で、括弧書きで意味を併記する(達成基準外)

<事例 1: 外国語を利用しないことで、読みやすくする>



4) 読みの難しい言葉に読み方を併記する

関連 JIS 項目:3.1.6 発音の達成基準【レベル AAA】

■言語を指定するメリット

- 読みの難しい言葉に読み方を併記することで、市民をはじめ、観光客や事業者など、さまざまな利用者の役に立ちます。

■達成方法

4-1. 各ページにおいて読みが難しい言葉がはじめて出てくる箇所で、読み方を括弧書きで併記する

■達成例

4-1. 各ページにおいて読みが難しい言葉がはじめて出てくる箇所で、読み方を括弧書きで併記する

<事例 1：難しい言葉の例>

青木(おうぎ)

淡河(おうご)

雌岡山(めっこうさん)

10. 予測可能

1) コンテンツにフォーカスしただけでコンテキストの変化を引き起こさない

関連 JIS 項目 : 3.2.1 フォーカス時の達成基準【レベル A】
3.2.5 要求による変化の達成基準【レベル AAA】

■コンテンツにフォーカスしただけでコンテキストの変化を引き起こさないメリット

コンテンツにフォーカスしただけ(マウスオーバーした状態)でコンテキストの変化が予期せず起これば視覚障害のある人、認知能力や運動機能に障害のある人はコンテキストの変化を理解できない可能性があります。Enter(や Click)など利用者のアクションによってコンテキストの変化が起こるよう設定することで、状況をスムーズに理解できるようになります。

■達成方法

1-1. コンテンツにフォーカスしただけ(マウスオーバーした状態)で、コンテキストの変化を起こさないようにする

■達成例

1-1. コンテンツにフォーカスしただけ(マウスオーバーした状態)で、コンテキストの変化が予期せず起こさないようにする

<事例 1 : エンター又はクリックすることによって表示されるコンテンツ>

✕ 悪い例 「メニュー」ボタンにフォーカスしただけ(マウスオーバーした状態)で、メニュー内容が開いてしまう悪い例。



○ 良い例 「メニュー」ボタンをクリックまたはエンターキーで、メニュー内容が開く良い例。



2) コンテキストの変化を引き起こす前に何が起こるのかを説明し、実行ボタンを提供する

関連 JIS 項目:3.2.2 入力時の達成基準【レベル A】

■ コンテキストの変化を引き起こす前に何が起こるのかを説明し、実行ボタンを提供するメリット

コンテキストの変化が起こる場合は、事前に説明をした上で、Enter(や Click)など利用者のアクションによってコンテキストの変化が起こるよう設定することで、状況をスムーズに理解できるようになります。

■ 達成方法

- 2-1. コンテキストの変化を引き起こす前に何が起こるのかを説明し、実行ボタンを提供する
- 2-2. リンクは原則として別ウィンドウを開く設定にしない(達成基準外)

■ 達成例

2-1. コンテキストの変化を開始する送信(実行)ボタンを提供する

<事例1:プルダウン>



悪い例 プルダウンメニューから項目をクリックしただけで、ページが移動する悪い例

神戸市 用途地域図 町丁名索引

あ	い	お	か	き	こ	し	す	せ	そ	た	つ	と
は	ひ	ふ	ま	み	や							

●北区の50音別町名一覧です。ご覧になりたい町丁名をクリックし、表示された図面をスクロールしてお調べ下さい。
 ●複数の図面にまたがる町丁があるため、隣接の図面についてもご覧ください。
 ●図面に町丁名の表示がない場合には、周辺の地形からお探してください。

あ



良い例 プルダウンメニューから選択後、実行ボタンを押すことで、ページが移動する良い例

神戸市 用途地域図 町丁名索引

あ	い	お	か	き	こ	し	す	せ	そ	た	つ	と
は	ひ	ふ	ま	み	や							

●北区の50音別町名一覧です。ご覧になりたい町丁名をクリックし、表示された図面をスクロールしてお調べ下さい。
 ●複数の図面にまたがる町丁があるため、隣接の図面についてもご覧ください。
 ●図面に町丁名の表示がない場合には、周辺の地形からお探してください。

あ

<事例 2 : 送信フォーム>



悪い例

コンテキストの変化を引き起こす前に何が起こるかの説明が不足している上、エンターキー又は送信ボタンをクリックすると送信を実行してしまう例

お問合せ内容

送信



良い例

コンテキストの変化を引き起こす前に何が起こるかを説明する文があり、「確認ボタン」をクリックすると確認ページへの移動が実行される例

お問合せ内容

以下の確認ボタンをクリックして、入力内容をご確認ください。

確認



良い例

コンテキストの変化を引き起こす前に何が起こるかを実行ボタンが詳しく説明していて、クリックすると確認ページへの移動が実行される例

お問合せ内容

入力内容を確認する

2-2. リンクは原則として別ウィンドウを開く設定にしない。

<事例 1 : 別ウィンドウで開かないリンク例>



良い例

- [自由民主党 \(外部リンク\)](#)
- [公明党 \(外部リンク\)](#)
- [日本維新の会 \(外部リンク\)](#)
- [日本共産党 \(外部リンク\)](#)
- [立憲民主党 \(外部リンク\)](#)
- [つなぐ \(外部リンク\)](#)
- [国民民主党・友愛 \(外部リンク\)](#)

中にはアイコンのみで外部リンクを示す方法もあります。

- [神戸-関空ベイ・シャトル](#)
- [神戸港防災ポータルサイト](#)
- [神戸港福利厚生施設神戸ポートオアシス](#)

アイコンで示す際は、アイコンの代替テキストで「外部リンク」と提供してください。

3) 一貫したナビゲーションを提供する

関連 JIS 項目:3.2.3 一貫したナビゲーションの達成基準【レベル AA】

■一貫したナビゲーションを提供するメリット

- 繰り返し用いられているナビゲーションを、サイトの各ページで同じ順序で提示することによって、利用者が各ページのどこにそれがあるのかを予測できるようになり、快適に利用できるようになります。
- ナビゲーションを予測できることは、認知能力の低下している利用者、ロービジョンの利用者、知的障害のある利用者に加えて、全盲の利用者の役に立ちます。

■達成方法

3-1. 繰り返されるナビゲーションは毎回同じ順序で提示する

■達成例

3-1. 繰り返されるナビゲーションは毎回同じ順序で提示する

<事例 1: 繰り返されるナビゲーション>



ヘッダーロゴやサイト内検索、グローバルナビゲーション、メニューは、項目、配置ともに全ページ統一する。フッターについても同様です。



4) 同じ機能を持つコンテンツには一貫した名前や代替テキストを用いる

関連 JIS 項目:3.2.4 一貫した識別性の達成基準【レベル AA】

■ 同じ機能を持つコンテンツには一貫した名前や代替テキストを用いるメリット

同じ機能で名称が異なっていれば、利用者が混乱する場合があります。同じ機能を持つコンテンツには一貫した名前や代替テキストを用いることで、利用者がスムーズに情報を理解することができるようになります。

■ 達成方法

4-1. 同じ機能を持つコンテンツには一貫した名前や代替テキストを用いる

■ 達成例


4-1. 同じ機能を持つコンテンツには一貫した名前や代替テキストを用いる

<事例 1: アイコンやリンク>

悪い例 ページにより表現が異なるページの先頭へのリンク

カテゴリトップページ

カテゴリ詳細ページ(※テキストではなく画像になっている)


 [ページの先頭へ](#)




良い例 どのページでも表現が一貫しているページの先頭へのリンク

カテゴリトップページ

カテゴリ詳細ページ

 [ページの先頭へ](#)

 [ページの先頭へ](#)

良い例

トップページ

カテゴリページ

カテゴリ詳細ページ



テキストであれ画像ボタンであれ、統一、一貫されていることが重要です。

※画像である場合は代替テキストの提供は必須です。

<事例 2 : 検索機能>

✕ 悪い例 ページにより表現が異なる「検索」ボタン※他ページは「探す」になっている

トップページ

カテゴリーページ

○ 良い例 どのページでも表現が一貫している検索ボタン

トップページ

カテゴリーページ

11. 入力支援

1) フォームにおいてスムーズに入力できるよう配慮する

関連 JIS 項目:3.3.2 ラベル又は説明の達成基準【レベル A】

■フォームにおいてスムーズに入力できるよう配慮するメリット

フォームを分かりやすく作れば、入力に時間のかかる利用者の負担を軽減することができます。

- スクリーンリーダーを利用している利用者が入力しやすくなります。
- 手の不自由な利用者が入力しやすくなります。

■達成方法

- 1-1. フォームの先頭で、必須項目や必要とする入力フォーマットに関する説明文を提供する
- 1-2. 入力条件や、入力例などを事前に利用者に分かりやすく伝える
- 1-3. 入力項目とラベルの関係がよく分かるように配置する
- 1-4. label 要素を用いて、テキストのラベルとフォーム・コントロールを関連付ける
label 要素を用いることができないとき、title 属性を用いてフォーム・コントロールを特定する
- 1-5. 隣接するボタンを用いて、テキスト・フィールドの目的をラベル付けする
- 1-6. フォーム・コントロールにグループがある場合は、fieldset 要素及び legend 要素を用いる

■達成例

- 1-1. フォームの先頭で、必須項目や必要とする入力フォーマットに関する説明文を提供する

<事例 1: 必須項目や必要とする入力フォーマットに関する説明文を提供している例>

○ 良い例

○○お問合せフォーム


必須項目は必ず入力してください。

フリガナは全角カナで入力してください。

お名前 (必須)	<input type="text"/>
フリガナ (全角カナ)	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/>
その他	<input type="text"/>

1-2.入力条件や、入力例などを事前に利用者に分かりやすく伝える

<事例1：入力条件や入力例>

 **悪い例** (テキストフィールドのあとに配置されている)

入力フォーム

必須項目は必ずご入力ください。

お名前 (必須)
ふりがな (カタカナ)

 **良い例**


入力フォーム

必須項目は必ずご入力ください。


お名前 (必須)
入力例：神戸太郎
ふりがな (全角カタカナ)
入力例：コウベ タロウ

1-3.入力項目とラベルの関係がよく分かるように配置する

<事例1：テキストフィールドの上側のラベル>

 **良い例** お名前 (入力例：神戸太郎)

<事例2：テキストフィールドの左側のラベル>

 **良い例** お名前 (入力例：神戸太郎)

1-4.label 要素を用いて、テキストのラベルとフォーム・コントロールを関連付ける

label 要素を用いることができないとき、title 属性を用いてフォーム・コントロールを特定する

24 ページ達成例 1-11 参照

1-5.隣接するボタンを用いて、テキスト・フィールドの目的をラベル付けする

<事例 1 : 検索を実行するための「検索」とラベル付けされたボタンがある例>



1-6.フォーム・コントロールにグループがある場合は、fieldset 要素及び legend 要素を用いる

<事例 1 : 電話番号>



```
<fieldset><legend>電話番号</legend>
<input id="areaCode" name="areaCode" title="市外局番"
type="text" size="3" value="" >
<input id="exchange" name="exchange" title="電話番号の上3桁"
type="text" size="3" value="" >
<input id="lastDigits" name="lastDigits" title="電話番号の下4桁"
type="text" size="4" value="" >
</fieldset>
```

2) フォームにおいてエラーが起らないよう、起った場合はエラー箇所を特定できるようにする

関連 JIS 項目 : 3.3.1 エラーの特定の達成基準【レベル A】

3.3.3 エラー修正の提案の達成基準【レベル AA】

3.3.4 エラー回避(法的, 金融及びデータ)の達成基準【レベル AA】

■フォームにおいてエラーが起らないよう、起った場合はエラー箇所を特定できるようにするメリット

- 入力エラーを修正する方法を伝えることで、学習障害のある利用者がフォームに問題なく入力できるようになります。
- 全盲の利用者又は視覚に障害のある利用者が、入力エラーの内容及びその修正方法を容易に理解できるようにします。

■達成方法

2-1. 必須項目が入力されていない場合には、エラー箇所をテキストで説明する

2-2. 利用者が認められた値以外を入力した場合には、テキストで説明する。可能であればテキストの修正候補を提示する

2-3. 利用者が要求されたフォーマット以外の内容を入力した場合には、テキストで説明する。可能であればテキストの修正候補を提示する

2-4. 入力エラー時には、クライアントサイドのバリデーションによって、アラートを表示する。又はテキストでエラーを表示する

2-5. 送信する前に、利用者が回答を確認及び修正できるようにする

2-6. 法的義務、金銭的取引に関わるフォームでは、送信ボタンに加えてチェックボックスを設ける

※上記の達成方法で対応できない場合は WAI-ARIA の適用を検討してください。

WCAG 2.0 達成方法集 <https://waic.jp/docs/WCAG-TECHS/Overview.html>

■達成例

2-1. 必須項目が入力されていない場合には、エラー箇所をテキストで説明する

<事例 1 : 必須項目に関する説明文>

下記の赤字エラー文を、フォームの先頭ないし該当項目のうえに表示されるようにします。

 **良い例**

入力エラー: 必須項目が入力されていません。お問い合わせ内容を入力してください。

2-2. 利用者が認められた値以外を入力した場合には、テキストで説明する。可能であればテキストの修正候補を提示する

<事例 1 : 必須項目に関する説明文>

 **良い例**

入力エラー: 日付が正しくありません。半角英数字で入力してください。

○ 良い例

入力エラー

エラー内容を確認後、「入力画面に戻る」ボタンを押して、再度入力してください。

- お名前の省略はできません。
- 問い合わせ件名の省略はできません。
- 問い合わせ内容の省略はできません。

入力画面に戻る

2-3. 利用者が要求されたフォーマット以外の内容を入力した場合には、テキストで説明する。可能であればテキストの修正候補を提示する

<事例 1：必須項目に関する説明文>

○ 良い例

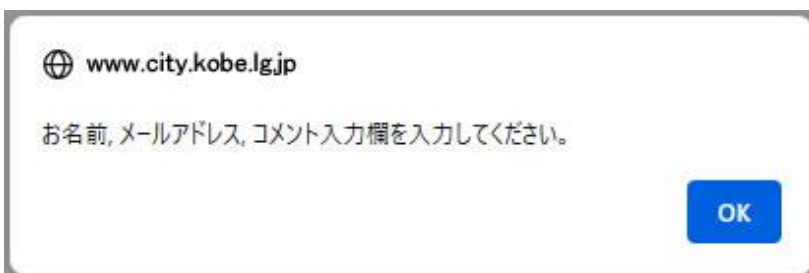
入力内容が正しくありません。2013 年ではありませんか？

ご予約日(必須) 西暦 年 月 日

2-4. 入力エラー時には、クライアントサイドのバリデーションによって、アラートを表示する。又は DOM を介してテキストでエラーを表示する

<事例 1：入力エラー時のアラート表示例>

○ 良い例



Ⓜ www.city.kobe.lg.jp

お名前, メールアドレス, コメント入力欄を入力してください。

OK

<事例 2 : テキストでのエラーを表示例>

○ 良い例

入力エラーがあります。以下のエラー内容をクリックするとエラー箇所へ移動し、カーソルが点滅します。

- [お名前を入力してください。](#)
- [電話番号を入力してください。](#)
- [ご予約日を入力してください。](#)

お名前(必須)

入力例:神戸太郎

電話番号(必須)

入力例:078-000-0000(半角英数字)

ご予約日(必須)

入力例:2013年4月1日(全角)

2-5.送信する前に、利用者が回答を確認及び修正できるようにする

<事例 1 : 送信する前に、ユーザーに入力内容を確認するように促している例>

○ 良い例

お問合せ内容

以下の確認ボタンをクリックして、入力内容をご確認ください。

確認

2-6. 法的義務、金銭的取引に関わるフォームでは、送信ボタンに加えてチェックボックスを設ける

<事例 1：送信する前に、チェックボックスを設置している例>



お問合せ内容

入力内容に間違いはなく、送信準備ができました

※エラー表示はいずれか、または組み合わせて選択してください。

※法的義務、金銭的取引に関わるフォームでは、必ず達成例 2-5、2-6 を用いてください。

12. 互換性

1) 仕様に準じてウェブコンテンツを作成する

関連 JIS 項目: 4.1.1 構文解析の達成基準【レベル A】

■ 仕様に準じてウェブコンテンツを作成するメリット

ウェブページが仕様に準じていれば、仕様に基づき開発されている支援技術(スクリーンリーダー等)が問題なくコンテンツを理解できるようになります。

■ 達成方法

- 1-1. ウェブページをバリデートする
 - 1-2. 開始タグ及び終了タグを仕様に準じて用いていることを確認する
 - 1-3. ウェブページが well-formed であることを確認する
 - 1-4. 要素には重複した属性がないようにする
 - 1-5. ウェブページの id 属性値が一意的(ユニーク)であるようにする
- ※上記の達成方法で対応できない場合は WAI-ARIA の適用を検討してください。
WCAG 2.0 達成方法集 <https://waic.jp/docs/WCAG-TECHS/Overview.html>

■ 達成例

1-1. ウェブページをバリデーターで確認し、修正する

<バリデーター例>

HTML・XHTML 構文の検証

Markup Validation Service URL: <https://validator.w3.org/>

CSS 構文の検証

CSS Validation Service URL: <https://jigsaw.w3.org/css-validator/>

バリデーターで確認し、特に以下の点については重点的に修正を行ってください。

1-2. 開始タグ及び終了タグを仕様に準じて用いていることを確認する

バリデーターにより開始タグ及び終了タグについて問題が検出されれば、修正してください。



悪い例

終了タグが抜けている例

```
<p>最初の文  
<p>次の文</p>
```



良い例

開始タグと終了タグが対応している例

```
<p>最初の文</p>  
<p>次の文</p>
```

1-3.ウェブページが well-formed であることを確認する

✕ 悪い例 well-formed でない例(p と div の終了タグがまちまちになっている)

```
<p>文章  
<div>  
</p>  
</div>
```

○ 良い例 well-formed である例

```
<p>文章</p>  
<div></div>
```

※上記はバリデータで検出されない可能性もあるので注意してください。

※行間を空ける為に
を多用するのは避けてください。

1-4.要素には重複した属性がないようにする

バリデータにより重複した属性値が検出されれば、重複しないよう修正する。

※属性の例:「class」「id」「href」「alt」など

1-5.ウェブページの id 属性値が一意的(ユニーク)であるようにする

バリデータにより重複した id 属性が検出されれば、重複しないよう修正してください。

✕ 悪い例 重複している例(属性値:text)

```
<p id="text">文章</p>  
<p id="text">文章</p>
```

○ 良い例 重複していない例

```
<p id="text">文章</p>  
<p id="sentence">文章</p>
```

2) 識別名及び役割はプログラムが解釈できるようにし、利用者が操作できるようにする

関連 JIS 項目: 4.1.2 名前(name), 役割(role), 及び値(value)の達成基準【レベル A】

■ 識別名及び役割はプログラムが解釈できるようにし、利用者が操作できるようにするメリット

独自のコントロールを作成する場合には、識別名及び役割をプログラムや支援技術が解釈できるようにすることで、独自のコントロールを利用者が操作できるようになります。

■ 達成方法

2-1. 識別名及び役割はプログラムが解釈できるようにし、利用者が操作できるようにする

※上記の達成方法で対応できない場合は WAI-ARIA の適用を検討してください。

WCAG 2.0 達成方法集 <https://waic.jp/docs/WCAG-TECHS/Overview.html>

■ 達成例

2-1. 識別名及び役割はプログラムが解釈できるようにし、利用者が操作できるようにする

<事例 1: リンク>



良い例

[神戸市トップページへ](http://www.city.kobe.lg.jp/)

```
<a href="http://www.city.kobe.lg.jp/">神戸市トップページへ</a>
```

「神戸市トップページへ」が識別名となっていて、プログラムがリンクであると解釈し、利用者が操作することができます。

<事例 2: 画像の検索ボタン>



良い例



```
<input type="image" src="search.gif" alt="検索" id="search" />
```

「検索」が識別名となっていて、プログラムが画像を検索ボタンであると解釈し、利用者が検索することができます。

<事例 3: 画像の音声再生ボタン>



良い例



「音声読み上げ」が識別名となっていて、プログラムが画像を音声再生ボタンであると解釈し、利用者が音声を再生することができます。

13. JIS X 8341-3:2016 達成基準外での注意

PDF 文書

2016年10月7日に更新された達成方法集の日本語訳を元に、神戸市としてできる限りの対応を行ってまいります。

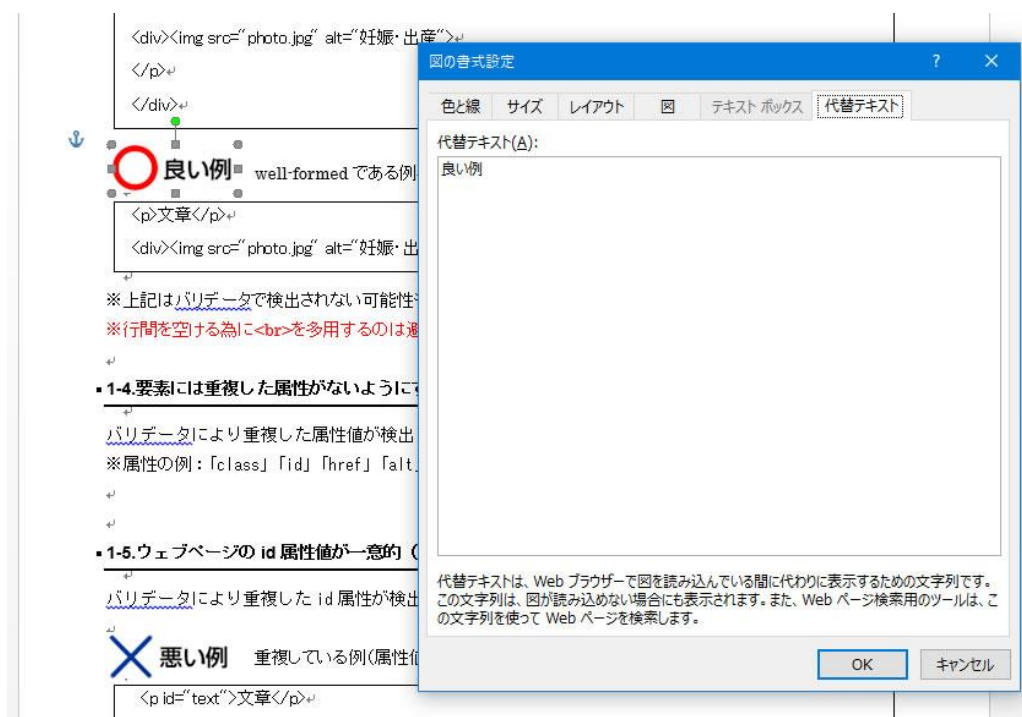
1) Word 文書を PDF 文書に変換する場合の手順

1) Microsoft Word で見出しスタイルを適切に使用する



2) Microsoft Word で代替テキストを設定する

1. 画像を右クリックし、[図の書式設定]を選択する。
2. [代替テキスト]タブを選択する。
3. 表示されるテキストボックスに代替テキストを入力し、[OK]を押下する。



3) Microsoft Word でテーブルのマークアップにテーブル元素を使用する

1. 表のヘッダ行のコンテキストメニューから[表のプロパティ]を選択する
2. [行]タブを選択する
3. 次の画像に示すように、「各ページにタイトル行を表示する」を選択する

1-9.レイアウト table は基本的に使用しない。使用する際は、th、summary、caption を使用しない。

The screenshot shows the 'Table Properties' dialog box in Microsoft Word. The 'Rows' tab is active. Under the 'Options' section, the checkbox 'Show title row on each page' is checked and highlighted with a red box. Other options include 'Break rows across pages' and 'Specify height'. The background shows a document with a table and some text.

4) Word 文書で複数ページにわたる場合には、一貫性のあるページ番号を指定する ページ番号を設定することで、利用者は現在時を確認することができます。

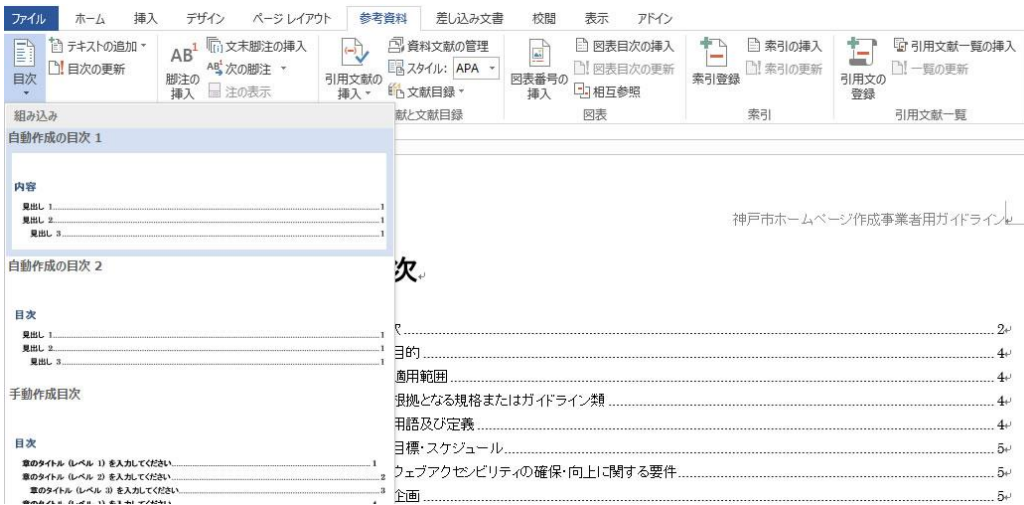
The screenshot shows the Microsoft Word ribbon with the 'Page Number' menu open. The 'Page Number Format Options' option is highlighted with a red box. The background shows a document with a page number '2' and some text.

5) Word 文書で複数ページにわたる場合には、必要に応じてヘッダーやフッターの使用し、様式を統一させる ヘッダーやフッターが複数ページで連続する場合、一貫性のある予測可能な方法で繰り返される情報を提供する ことにより、コンテンツの利用と理解を容易にするために役に立ちます。以下を必要に応じて設定してください。

- 以下の情報文書のタイトル
- 文書内の現在の章および節
- 「ページ 3-4」または「ページ 9/15」のような現在位置情報のあるページ番号
- 作成者および日付情報

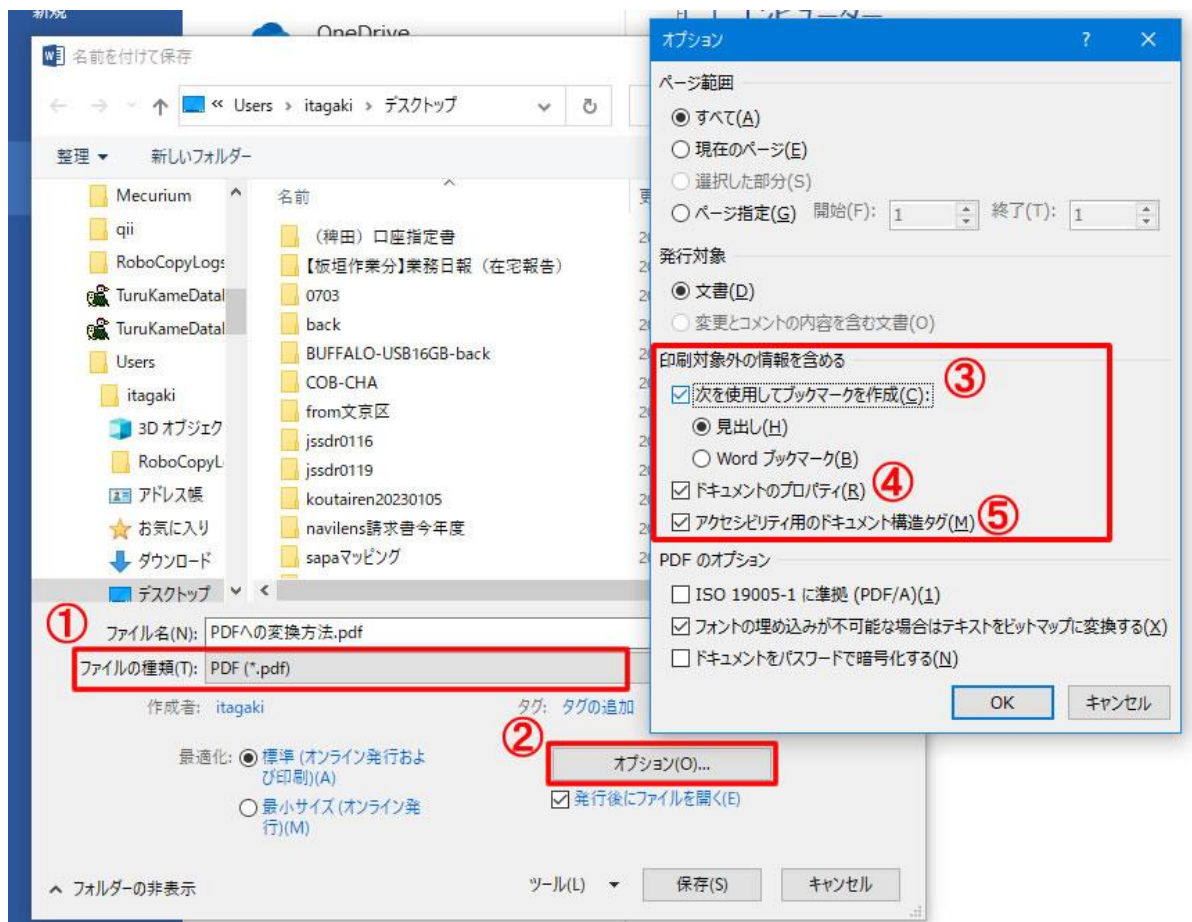
(6)Microsoft Word で目次を作成する

Microsoft Word で[参考資料]の[目次]メニューから[目次の挿入]を選択し、目次を作成する。



(7)Word 文書を PDF 文書に変換する。

1. 名前を付けて保存 > PDF(*.pdf) を選択
2. [オプション]をクリック
3. 次を使用してブックマークを作成の[見出し]を選択
4. [ドキュメントのプロパティ]を選択
5. [アクセシビリティ用のドキュメント構造タグ]を選択し、OK、保存



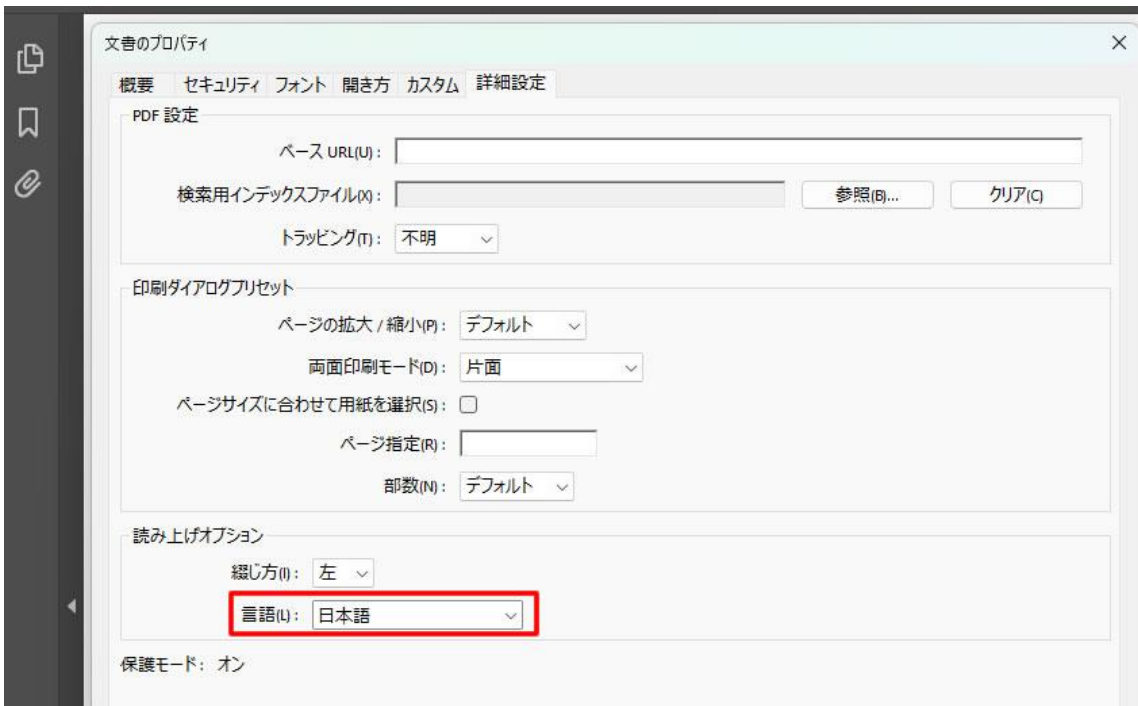
(8) Adobe Acrobat Pro で文書のタイトルを指定する

1. Adobe Acrobat Pro で PDF 文書を開く。
2. [ファイル]から[プロパティ]を選択する
3. [概要]タブを選択して、「タイトル」を記入、又は変更する



(9) Adobe Acrobat Pro でエントリを使用してデフォルト言語を設定する

1. Adobe Acrobat Pro で PDF 文書を開く。
2. [ファイル]から[プロパティ]を選択する
3. [詳細設定]タブを選択する
4. [読み上げオプション]から「日本語」を選択し、OK ボタンをクリック



2) Word 文書以外を変換した PDF 文書や、文字がテキストデータとして存在していない PDF 文書の場合は、HTML で代替コンテンツを用意する

Word 文書以外を変換した PDF 文書や、文字がテキストとデータとして存在していない PDF 文書とは、以下のようなものがあります。

- Excel 文書を変換した PDF 文書
- 画像を貼りつけた PDF 文書
- アウトライン化されたデータを変換した PDF 文書

1)文字のデータ化

- 画像化されたデータは、OCR 等でスキャンし、文字データ化してください。
- アウトライン化されたデータの場合は、アウトライン化される前のデータを入手するか、画像に変換して OCR 等でスキャンし、テキストデータ化してください。

2)HTML 化

データ化されたテキストは、PDF 化するよりも HTML 化する方がより、アクセシビリティが確保できます。

- Word 文書以外を変換した PDF 文書や画像を貼りつけた PDF 文書、またはアウトライン化された PDF 文書を通常どおりダウンロードできるようにアップすると共に HTML 版も提供してください。

＜参考資料2＞
神戸市実装チェックリスト

実装チェックの方法

1) 実装チェックの方法

ウェブページを作成した事業者は、納品前に JIS X 8341-3:2016 のレベル A、AA に基づく実装チェックリストを作成し、実装チェックを行ってください。独自で作成するのではなく、神戸市が用意している次ページ以降の「神戸市実装チェックリスト」を活用していただいてもかまいません。

実装チェックの際に、達成方法について不明な点がありましたら、本ガイドライン「(参考資料1)神戸市 JIS X 8341-3:2016 レベル A、AA 達成方法解説(一部レベル AAA 含む)」をご参照ください。

【神戸市実装チェックリスト】

すべてのウェブページにおいて使用していただく実装チェックリストと、ウェブページで該当技術を用いている場合のみ使用していただく実装チェックリストの2種類があります。

すべてのウェブページにおいて使用していただく実装チェックリスト

1. 3. 適応可能
2. 4. 識別可能
3. 5. キーボード操作可能
4. 6. 十分な時間
5. 7. 発作の防止
6. 8. ナビゲーション可能
7. 9. 読みやすさ
8. 10. 予測可能

ウェブページで該当技術を用いている場合のみ使用していただく実装チェックリスト

9. 1. 代替テキスト
ウェブページが、画像、またはライブ音声・ライブ映像・動画・object 要素のいずれかを含む場合に使用する実装チェックリスト
10. 2. 時間依存メディア
ウェブページが、音声や映像を含む場合に使用する実装チェックリスト
11. 11. 入力支援
フォームを作成した場合や、神戸市 CMS テンプレート以外の検索窓を用いた場合に使用する実装チェックリスト

神戸市実装チェックリスト

1. 代替テキスト

ウェブページが、画像、・ライブ音声・ライブ映像・動画・object 要素のいずれかを含む場合、達成できていれば「OK」、できていなければ「NG」、該当するコンテンツがなければ「該当なし」に○をつけてください。「OK」か「該当なし」か不明な場合、どちらに○をつけていただいても問題ありません。検証項目の正しい実装が不明である場合には、本ガイドライン「7. 達成基準への対応」の「1. 代替テキスト」を確認してください。

検証項目	レベル	OK	NG	該当なし
1) 非テキストコンテンツに代替テキストを提供する				
1.1.1 非テキストコンテンツの達成基準【レベル A】				
意味を持つ画像（文字が書かれた画像等）には画像等と同じ内容の alt 属性値を入力している。	A			
意味を持つ画像（文字が書かれた画像等）は、CSS で設定せず、html に設定している。alt 属性値を入力しており、title 属性は設定していない。（もし title 属性を設定している場合は、alt 属性値と内容が重複していない。）	A			
意味を持たない画像（装飾画像等）は、alt 属性値を空にして、title 属性を付与してない。または CSS で指定している。	A			
画像の alt 属性値と、隣り合うテキストの内容が重複していない。	A			
イメージマップの area 要素に alt 属性値を入力している。	A			
送信 / 実行ボタンとして用いる画像に alt 属性値を設定している。	A			
非テキストコンテンツに一般に認められた名前又は内容が分かる名前を提供している。（例）有名な絵画など	A			
ライブの音声しか含まないコンテンツやライブの映像しか含まないコンテンツの目的を説明している。 （例）音声ファイルなど	A			
object 要素のボディに代替テキストを記述している。 （例）動画など	A			

2. 時間依存メディア

ウェブページが、音声や映像を含む場合、達成できていれば「OK」、できていなければ「NG」、該当するコンテンツがなければ「該当なし」に○をつけてください。「OK」か「該当なし」か不明な場合、どちらに○をつけていただいても問題ありません。検証項目の正しい実装が不明である場合には、本ガイドライン「7. 達成基準への対応」の「2. 時間依存メディア」を確認してください。

検証項目	レベル	OK	NG	該当なし
1) 音声だけ及び映像だけ（収録済み）に代替コンテンツを提供する				
1.2.1 音声だけ及び映像だけ（収録済み）の達成基準【レベル A】				
音声のみのメディアと同等の情報をテキスト等でも提供している。 （例）歌詞など	A			
映像のみのメディアと同等の情報をテキストでも提供している。	A			
2) 時間依存メディアの音声と映像に代替コンテンツを提供する				
1.2.2 キャプション（収録済み）の達成基準【レベル A<一部除外>】				
1.2.3 音声解説又はメディアに対する代替コンテンツ（収録済み）の達成基準【レベル A<一部除外>】				
時間依存メディアの音声と映像の内容が分かる概要を、テキストでも提供している。	A 一部 除外			

3. 適応可能（実装チェック必須シート）

達成できていれば「OK」、できていなければ「NG」、該当するコンテンツがなければ「該当なし」に○をつけてください。「OK」か「該当なし」か不明な場合、どちらに○をつけていただいても問題ありません。検証項目の正しい実装が不明である場合には、本ガイドライン「7. 達成基準への対応」の「3. 適応可能」を確認してください。

検証項目	レベル	OK	NG	該当なし
1) ウェブコンテンツの情報と関係性を適切にマークアップする				
1.3.1 情報及び関係性の達成基準【レベル A】				
h1 要素～h6 要素を順序よく用いている。 注) h6 まで使用していなくても、問題ありません。h3 と h2 のように順序が逆になっているなどは NG となります。	A			
リストには、ol 要素、ul 要素、dl 要素を用いている。	A			
デザインの為の要素を CSS で設定し、HTML では使用していない。(例) font color、font size、b 等	A			
太字等の強調箇所は strong、em 要素、 参照箇所に cite 要素、 引用箇所に blockquote 要素、 下付き文字、上付き文字に、sub、sup 要素 を用いている。	A			
テキストの表現のバリエーションによって情報を伝えていない。 (例)「斜体の文字は更新箇所」等は NG となります。	A			
レイアウト table は基本的に使用しない。使用する際は、th、summary、caption を使用していない。	A			
データ table を使用する際は、caption、tr、th、td を使用している。	A			
label 要素を用いて、テキストのラベルを関連付けている。label 要素を用いることができないとき、title 属性を用いて適切に値を入力している。	A			
ページにコンテンツを追加する場合、DOM (ドキュメント・オブジェクト・モデル) を用いる。少なくとも HTML 内に document.write() や innerHTML () は用いていない。	A			
1-13. 関連したリンクをグループ化するために、nav 要素を使用する	A			
2) コンテンツの意味を理解するのに必要な音声読み上げの順序を保つ				
1.3.2 意味のある順序の達成基準【レベル A】				
コンテンツを意味のある順序で並べている。	A			

単語の文字間にスペースやタグを用いていない。	A		
3) 理解すべき情報を感覚的にだけ伝えることのないように、テキストでも情報を伝える			
1.3.3 感覚的な特徴の達成基準 【レベルA】			
理解すべき情報を感覚的にだけ伝えることのないように、テキストでも情報を伝えている。 (例)「丸いボタンを押してください」等はNGとなります。	A		

4. 識別可能(実装チェック必須シート)

達成できていれば「OK」、できていなければ「NG」、該当するコンテンツがなければ「該当なし」に○をつけてください。「OK」か「該当なし」か不明な場合、どちらに○をつけていただいても問題ありません。検証項目の正しい実装が不明である場合には、本ガイドライン「7. 達成基準への対応」の「4. 識別可能」を確認してください。

検証項目	レベル	OK	NG	該当なし
1) 色の違いだけで情報を伝えない				
1.4.1 色の使用の達成基準 【レベル A】				
リンク又はコントロールは、その文字色と周囲にあるテキストとのコントラスト比を 3:1 以上にしている。又は下線を消していない。	A			
テキストの色の違いで情報を伝える際は、視覚的な手がかりを補足している。 又は、色の違いで伝えている情報をテキストでも伝えている。 又は、色とパターンを併用している。	A			
2) 利用者の要求に応じてのみ、音声を再生する				
1.4.2 音声の制御の達成基準 【レベル A】				
利用者の要求に応じてのみ、音声を再生している。	A			
4) テキストのサイズを利用者が変更できるようにする				
1.4.4 テキストのサイズ変更の達成基準 【レベル AA】				
テキストやテキストコンテナのサイズ指定には、px や pt 等の絶対指定ではなく、em、%、キーワード等の相対指定を用いている。	AA			
文字を 200%以上に拡大して、コンテンツの機能が損なわれている箇所が無い。	AA			
5) 必要不可欠な場合を除いて、文字を画像化しない				
1.4.5 文字画像の達成基準 【レベル AA】				
ロゴやデザイン上必要不可欠な場合を除いて、文字を画像化しない。 注) アンチエイリアスがオフの文字は NG となります。	AA			

5. キーボード操作可能(実装チェック必須シート)

達成できていれば「OK」、できていなければ「NG」、該当するコンテンツがなければ「該当なし」に○をつけてください。「OK」か「該当なし」か不明な場合、どちらに○をつけていただいても問題ありません。検証項目の正しい実装が不明である場合には、本ガイドライン「7. 達成基準への対応」の「5. キーボード操作可能」を確認してください。

検証項目	レベル	OK	NG	該当なし
1) キーボードのみで操作できるようにする				
2.1.1 キーボードの達成基準 【レベルA】				
マウスを使わず、キーボード操作のみでウェブページのすべてのコンテンツを操作でき、閲覧後、別のページへも移動することができる。	A			
2.1.3 キーボード（例外なし）の達成基準【レベルAAA】				
マウスによるクリック、またはキーボードによるエンターでアクションが起るよう設定している。 注) マウスオーバーでアクションが起こる場合は、NGとなります。	AAA			

6. 十分な時間(実装チェック必須シート)

達成できていれば「OK」、できていなければ「NG」、該当するコンテンツがなければ「該当なし」に○をつけてください。「OK」か「該当なし」か不明な場合、どちらに○をつけていただいても問題ありません。検証項目の正しい実装が不明である場合には、本ガイドライン「7. 達成基準への対応」の「6. 十分な時間」を確認してください。

検証項目	レベル	OK	NG	該当なし
1) 制限時間は原則として設けない				
2.2.1 タイミング調整可能の達成基準 【レベルA】				
制限時間は原則として設けていない。 又は設定する必要がある場合は、20 時間以上としている。	A			
2) 自動更新するコンテンツや動きのあるコンテンツは、利用者が停止できるようにする				
2.2.2 一時停止、停止及び非表示の達成基準 【レベルA】				
スクロールする文字は使用していない。	A			
自動更新するコンテンツ又は動きのあるコンテンツである場合、一時停止させて、一時停止させたところから再開できるようにしている。	A			
点滅するコンテンツは原則として使用していない。 使用する必要がある場合は、5 秒未満で点滅が終わるようにコンテンツを作成している。	A			
アニメーション GIF を使用している場合、数回のループ後（5 秒以内）に停止するように設定している。	A			

7. 発作の防止(実装チェック必須シート)

達成できていれば「OK」、できていなければ「NG」、該当するコンテンツがなければ「該当なし」に○をつけてください。「OK」か「該当なし」か不明な場合、どちらに○をつけていただいても問題ありません。検証項目の正しい実装が不明である場合には、本ガイドライン「7. 達成基準への対応」の「7. 発作の防止」を確認してください。

検証項目	レベル	OK	NG	該当なし
1) 閃光を放つコンテンツは原則として設けない				
2.3.1 3回の閃光又は閾値以下の達成基準【レベル A】				
閃光を放つコンテンツは原則として設けていない。 又は設ける必要がある場合は、1 秒間 3 回以下とし、閃光を放つエリアを十分に小さくしている。	A			

8. ナビゲーション可能(実装チェック必須シート)

達成できていれば「OK」、できていなければ「NG」、該当するコンテンツがなければ「該当なし」に○をつけてください。「OK」か「該当なし」か不明な場合、どちらに○をつけていただいても問題ありません。検証項目の正しい実装が不明である場合には、本ガイドライン「7. 達成基準への対応」の「8. ナビゲーション可能」を確認してください。

検証項目	レベル	OK	NG	該当なし
1) ブロックスキップができるようにする				
2.4.1 ブロックスキップの達成基準【レベル A】				
コンテンツの各セクションの開始位置に見出し要素を提供している。	A			
フレームは使用していない。もしフレームを用いている場合には title 属性を付与している。	A			
2) ページの内容を予測できるようなページタイトルをつける				
2.4.2 ページタイトルの達成基準【レベル A】				
ページタイトル冒頭に「神戸市：」と記入し、コンテンツの内容が分かるタイトルを提供している。	A			
3) ウェブコンテンツの順序どおりの使いやすいフォーカス順序にする				
2.4.3 フォーカス順序の達成基準【レベル A】				
キーボード操作をした時、ウェブコンテンツの順序どおりの使いやすいフォーカス順序となっている。	A			
4) リンクの表現は、リンク先を予測できる内容にする				
2.4.4 リンクの目的（コンテキスト内）の達成基準【レベル A】				
2.4.9 リンクの目的の達成基準【レベル AAA】				
リンクテキストは、それだけでリンク先が予測できる内容にし、「こちら」などの表現は使用していない。	A/AAA			
リンク画像やイメージマップは、リンク先の内容を予想できるような代替テキストを指定している。	A/AAA			
PDF など HTML 以外のファイルにリンクをはる場合は、分かりやすさに配慮している。	A/AAA			
外部サイトにリンクをはる場合は、分かりやすさに配慮する	A/AAA			
5) 複数の到達手段を提供する				
2.4.5 複数の手段の達成基準【レベル AA】				

サイトマップを提供している。	AA			
検索機能を提供している。	AA			
6) 内容が分かる見出しやラベルをつける				
2.4.6 見出し及びラベルの達成基準 【レベル AA】				
本文の概要が分かる見出しをつけている。	AA			
目的や内容が分かるラベルをつけている。	AA			
7) フォーカスが視覚的に認識できるようにする				
2.4.7 フォーカスの可視化の達成基準 【レベル AA】				
リンク文字やリンク画像、又はフォーム等の入力項目にフォーカスされた時、フォーカスインジケータやカーソルが適切に表示されている。(CSS 等でフォーカスインジケータやカーソルを消していない)	AA			
8) 現在位置が把握できるようにする				
2.4.8 現在位置の達成基準 【レベル AAA】				
パンくずリストを提供している。	AAA			
サイトマップを提供する	AAA			

9. 読みやすさ(実装チェック必須シート)

達成できていれば「OK」、できていなければ「NG」、該当するコンテンツがなければ「該当なし」に○をつけてください。「OK」か「該当なし」か不明な場合、どちらに○をつけていただいても問題ありません。検証項目の正しい実装が不明である場合には、本ガイドライン「7. 達成基準への対応」の「9. 読みやすさ」を確認してください。

検証項目	レベル	OK	NG	該当なし
1) 言語を指定する				
3.1.1 ページの言語の達成基準【レベル A】				
html 要素の言語属性を用いている。	A			
3.1.2 一部分の言語の達成基準【レベル AA】				
言語属性を用いて、部分的に用いられている自然言語の変更を指定している。	AA			
2) 専門用語、省略語、流行語は多用しない				
3.1.3 一般的ではない用語の達成基準【レベル AAA】				
行政用語やその他の専門用語、省略語、流行語などの使用は極力控え、平易な文章を心がけている（入札情報のページなど、そのページの利用者が、使用する用語について知識を持っていると想定される場合は、この限りではない）	AAA			
各ページにおいて理解が難しいと考えられる専門用語がはじめて出てくる箇所で、用語の意味を括弧書きで併記している。	AAA			
3.1.4 略語の達成基準【レベル AAA】				
理解が難しいと考えられる省略語については、用語集にリンクさせている。	AAA			
3) 読解レベルに配慮する				
3.1.5 読解レベルの達成基準【レベル AAA】				
外国語は多用しない。各ページにおいて外国語がはじめて出てくる箇所で、括弧書きで意味を併記している。	達成基準外			
4) 読みの難しい言葉に読み方を併記する				
3.1.6 発音及び読み仮名の達成基準【レベル AAA】				
各ページにおいて読みが難しい言葉がはじめて出てくる箇所で、読み方を括弧書きで併記する	AAA			

10. 予測可能(実装チェック必須シート)

達成できていれば「OK」、できていなければ「NG」、該当するコンテンツがなければ「該当なし」に○をつけてください。「OK」か「該当なし」か不明な場合、どちらに○をつけていただいても問題ありません。検証項目の正しい実装が不明である場合には、本ガイドライン「7. 達成基準への対応」の「10. 予測可能」を確認してください。

検証項目	レベル	OK	NG	該当なし
1) コンテンツにフォーカスしただけでコンテキストの変化を引き起こさない				
3.2.1 フォーカス時の達成基準 【レベル A】				
3.2.5 要求の変化の達成基準 【レベル AAA】				
コンテンツにフォーカスしただけ（マウスオーバーした状態）で、コンテキストの変化を起こさないようにする	A/AAA			
2) コンテキストの変化を引き起こす前に何が起こるのかを説明し、実行ボタンを提供する				
3.2.2 入力時の達成基準 【レベル A】				
コンテキストの変化を引き起こす前に何が起こるのかを説明し、実行ボタンを提供している。	A			
リンクは別ウィンドウを開く設定にしていない。	達成基準外			
3) 一貫したナビゲーションを提供する				
3.2.3 一貫したナビゲーションの達成基準 【レベル AA】				
同一カテゴリ内のウェブページは共通したナビゲーションである。	AA			
4) 同じ機能を持つコンテンツには一貫した名前や代替テキストを用いる				
3.2.4 一貫した識別性の達成基準 【レベル AA】				
同じ機能を持つコンテンツには一貫した名前や代替テキストを用いている。	AA			

11. 入力支援

フォームを含む場合、達成できていれば「OK」、できていなければ「NG」、該当するコンテンツがなければ「該当なし」に○をつけてください。「OK」か「該当なし」が不明な場合、どちらに○をつけていただいても問題ありません。検証項目の正しい実装が不明である場合には、本ガイドライン「7. 達成基準への対応」の「11. 入力支援」を確認してください。

検証項目	レベル	OK	NG	該当なし
1) フォームにおいてスムーズに入力できるよう配慮する				
3.3.2 ラベル又は説明の達成基準 【レベル A】				
フォームの先頭で、必須項目や必要とする入力フォーマットに関する説明文を提供している。	A			
入力条件や、入力例などを事前に利用者に分かりやすく伝えている。	A			
label 要素を用いて、テキストのラベルとフォーム・コントロールを関連付けている。label 要素を用いることができないとき、title 属性を用いてフォーム・コントロールを特定している。	A			
隣接するボタンを用いて、テキスト・フィールドの目的をラベル付けしている。	A			
フォーム・コントロールにグループがある場合は、fieldset 要素及び legend 要素を用いている。	A			
2) フォームにおいてエラーが起らないよう、起った場合はエラー箇所を特定できるようにする				
3.3.1 エラーの特定の達成基準 【レベル A】				
3.3.3 エラー修正の提案の達成基準 【レベル AA】				
必須項目が入力されていない場合には、エラー箇所をテキストで説明している。	A/AA			
利用者が認められた値以外を入力した場合には、テキストで説明し、可能であればテキストの修正候補を提示している。	A/AA			
利用者が要求されたフォーマット以外の内容を入力した場合には、テキストで説明し、可能であればテキストの修正候補を提示している。	A/AA			
入力エラー時には、クライアントサイドのバリデーションによって、アラートを表示している。又はテキストでエラーを表示している。	A/AA			
送信する前に、利用者が回答を確認及び修正できるようにしている。	A/AA			
3.3.4 エラー回避（法的、金融及びデータ）の達成基準 【レベル AA】				
法的義務、金銭的取引に関わるフォームでは、送信ボタンに加えて、確認の為にチェックボックスを設けている。	AA			

12. 互換性(実装チェック必須シート)

達成できていれば「OK」、できていなければ「NG」、該当するコンテンツがなければ「該当なし」に○をつけてください。「OK」か「該当なし」か不明な場合、どちらに○をつけていただいても問題ありません。検証項目の正しい実装が不明である場合には、本ガイドライン「7. 達成基準への対応」の「12. 互換性」を確認してください。

検証項目	レベル	OK	NG	該当なし
1) 仕様に準じてウェブコンテンツを作成する				
4.1.1 構文解析の達成基準【レベル A】				
バリレーターを用いて作成したウェブページを検証した結果、バリデートエラーがない。 参考バリレーター)W3C Markup Validation Service (https://validator.w3.org/) 注)SNS のタグは除く。	A			